

92  
1824

上野動物園案内

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5

始



上野動物園案内

92-182A

上野動物園開閉時限早見表

月	開園時限	閉園時限	猶羽 豫園 ノ後 時限 間覽
一 月	午前九時	午後三時	一時間
二 月	同 八時三十分	同 三時三十分	同
三 月	同 八時	同 四時	同
四 月	同 七時三十分	同 四時三十分	同
五 月	同 七時三十分	同 五時	同
六 月	同 七時三十分	同 五時	同
七 月	同 七時	同 五時	同
八 月	同 七時	同 四時三十分	同
九 月	同 八時	同 四時	同
十 月	同 八時三十分	同 三時三十分	同
十一 月	同 九時	同 三時	同
十二 月	同 九時	同 三時	同

上野動物園來觀人心得拔萃

一、覽觀札ハ左ノ二種ニ區別シ一枚一人ニ限ルモノトス入園ノ節門外札賣場ニ於テ之ヲ買求メ門衛ニ渡スベシ

但五年未滿ノ小兒ハ覽觀札ヲ要セズ

大札 大人ニ用ユ 一枚金五錢

小札 五年以上十年以下ノ小兒ニ用ユ 一枚金參錢

一、學生々徒幼稚園幼兒(滿五年以上ノモノ)一團ヲナシ教員附添來觀スルモノハ 大人 金貳錢 金壹錢トス附添教員父兄亦同ジ

一、觀覽札ヲ携フルモノト雖狂疾或ハ酩酊者ト認ルトキハ園内ニ入レズ又ハ園内ヨリ立去ラシムルアルベシ

一、畜類ヲ牽キ園内ニ入ルヲ禁ズ

一、檻内ニ木石ヲ擲ゲ入レ若クハ笞鞭傘等ヲ以テ動物ヲ脅迫スルヲ禁ズ

一、豢養動物ニ猥リニ食物ヲ與フルヲ禁ズ

一、園中遊歩ハ隨意タリト雖通路ノ外ニ踏入リ又ハ花卉樹木等ヲ採折スルヲ禁ズ

東京帝室博物館

大正  
9. 1. 13  
内交

92-182A

上野動物園開閉時限早見表

月	開園時限	閉園時限	園内後時限
一月	午前九時	午後三時	一時間
二月	同 八時三十分	同 三時三十分	同
三月	同 八時	同 四時	同
四月	同 七時三十分	同 四時三十分	同
五月	同 七時三十分	同 五時	同
六月	同 七時三十分	同 五時	同
七月	同 七時	同 五時	同
八月	同 七時	同 四時三十分	同
九月	同 八時	同 四時	同
十月	同 八時三十分	同 三時三十分	同
十一月	同 九時	同 三時	同
十二月	同 九時	同 三時	同

上野動物園來觀人心得拔萃

一、覽觀札ハ左ノ二種ニ區別シ一枚一人ニ限ルモノトス入園ノ節門外札賣場ニ於テ之ヲ買求メ門衛ニ渡スベシ

但五年未滿ノ小兒ハ覽觀札ヲ要セズ

大札 大人ニ用ユ 一枚金五錢

小札 五年以上十年以下ノ小兒ニ用ユ 一枚金參錢

一、學生々徒幼稚園幼兒(滿五年以上ノモノ)一團ヲナシ教員附添來觀スルモノハ 大人 金貳錢 金壹錢トス附添教員父兄亦同ジ

一、覽觀札ヲ携フルモノト雖狂疾或ハ酣醉者ト認ルトキハ園内ニ入レズ又ハ園内ヨリ立去ラシムルアルベシ

一、畜類ヲ牽キ園内ニ入ルヲ禁ズ

一、檻内ニ木石ヲ擲ダ入レ若クハ笞鞭傘等ヲ以テ動物ヲ脅迫スルヲ禁ズ

一、豢養動物ニ猥リニ食物ヲ與フルヲ禁ズ

一、園中遊歩ハ隨意タリト雖通路ノ外ニ踏入り又ハ花卉樹木等ヲ採折スルヲ禁ズ

東京帝室博物館

大正  
9. 1. 13  
内交

### 學校生徒等觀覽ノ際注意ヲ要スル事項

東京帝室博物館并上野動物園觀覽ノ際ハ門外揭示來觀人心得ヲ遵守セラルベキハ勿論尙左ノ通注意アリ  
タシ

- 一、入場ノ節ハ校名ヲ門衛ニ示シ且教員并ニ生徒ノ數ヲ申告アリタシ
- 一、觀覽ノ際ハ教員終始附添ヒ監督アリタシ
- 一、入場退場トモ縱覽人雜沓ノ際ハ暫ク待合セ閑ヲ見計ヒ便宜入出アリタシ
- 一、縱覽人雜沓ノ場所ニ於テ長キ連續ノ列ヲ爲シテ進行シ若クハ一所ニ整列シテ場所ヲ占有スル等ノコトヲ止メラレタシ
- 一、觀覽中ハ勿論構内ニ於テ唱歌若クハ大聲ヲ發シ又ハ自由運動ヲ爲スコトヲ禁ゼラレタシ
- 一、陳列箱硝子板ノ上ニテ筆記スルコトヲ禁ゼラレタシ
- 一、杖ヲ以テ樹木ヲ叩キ若クハ杖ヲ振ヒ瓦礫ヲ投ジテ動物ヲ脅カス等ノ事ナキ様嚴重注意監督アリタシ

東京帝室博物館

### 上野動物園案内

本園ハ帝室博物館ニ所屬シ、上野公園ノ西ノ方ニ當ル處デ、往昔清水谷ト唱ヘ、東ノ方ハ東照宮ニ近ク、西及南ハ市街ニ接シ、北ハ東京美術學校ニ隣ツテ居テ、明治十五年カラ開園セラレタモノデアアル觀覽者ノ出入口ハ裏表ノ二ヶ所ニアツテ、上野公園カラ來ラレル人ハ表門カラ、本郷、駒込、根津、谷中方面ヲ通過シ、或ハ電車デ不忍池畔ノ、東照宮下停留場ニ下車シタ人ハ裏門カラ這入ルノガ便宜デアアル、而シテ表門カラ這入ツテ裏門へ出ルモ、裏門カラ這入ツテ表門へ出ルモ隨意デアアル、又園内ノ觀覽順序ハ、表門カラ順次ニ動物陳列ノ場所ニ、丸形青色ニ白字ノ番號札が揭示シテアルカラ、其レニ據ツテ巡回スレバ、見落シハ無イノデアアルガ、若シ裏門カラ這入ルト、先ヅ第二十五號室ト、第二十六號室ノ間ニ出ルカラ、其レヲ起點トシテ、第二十五號、第二十四號ト逆ニ見ルカ、又ハ第二十六號、第二十七號ト順ヲ追ツテ見テ行クカ、或ハ眞直ニ表門際ノ第一號室へ到着シテカラ、順ヲ追ツテ見レバ尙都合ガ良イト思フ、何レニシテモ門内ニ這入ツテカラ、揭示シテアル案内圖ヲ見ルコトヲ忘レテハナラナイ

#### 第一號 鶉雞類室

此室内ニハ種々ノ鶉雞類ガ養ハレテ居ル、當時養ハレテ居ルモノハ、くじやくデアアルガ、此室内ノ鳥類ハ時々第四號雉室又ハ第二十四號禽室ノモノト取換ヘテ陳列スルコトガアル

○くじやく (孔雀) The Java peacock (*Pavo muticus* L.) ガ居ル、コレハ交趾支那、馬來半島カラ、爪哇島ニ棲ンデ居ルモノデ、普通じやくじやく又ハまくじやくト唱ヘテ居ル、雄ノ箋毛(俗ニ尾ト云フテ居ルケレドモ眞ノ尾デハ無イノデアル)ハ非常ニ長ク伸ビテ、毎年三四月頃カラ六月頃マデハ、歩ミナガラ盛ンニコレヲ起テ、其美シサヲ誇ルモノデアル、普通日本ニ飼ハル、モノデ穀物ヤ摺餌デ養ハレルノデアル、尙此外ニ印度種ノモノガアツテ、いんどくじやくト云ハレテ居ル

○いんどくじやく (印度孔雀) The Indian Peacock (*Pavo cristatus* L.) ハ印度ニ産スルモノデ、日本デハ又ほうわうくじやくトモ唱ヘテ居ル、じやくじやくニ比ベルト其羽毛ノ色彩ニ優劣ガアルケレドモ、兩者トモ立派ナモノデアル、コレハ本種ヲ比較シタ談デアルガ、今此處ニ飼ツテ居ルノハ本種ノ外ニ、變種ノ純白色ノモノガアル、此變種ノ純白色ノ羽ヲ良ク見ルト、箋羽ノ先ニ浮織ノ様ニナツテ寶珠狀ノ紋ノ現ハレテ居ルノガ判ルノデアル、食物ハ前者ト同様ノモノヲ與ヘテ居ル此室ヲ見終リ北側ノ方カラ斜ニ右ノ方ヲ見ルト、六角形ノ小サイ鳥室ガアル、其レガ第二號デアル

### 第一號 ありむ室

○おぼたん The Great Red-Crested Cockatoo (*Caratus moluccensis* Gmel.) ハ普通ありむト稱スルモノデ、モラツカ群島ニ澤山居ル、嘴ト脚ノ色ハ黒ク、羽ノ色ハ冠羽ハ「とき」色デ其他ハ「とき」色ヲ淡ク含ンダ白色デアル、人ノ語ヤ、鳥獸ノ鳴聲ナドヲ真似ルノガ巧者ナノデ、鳥好キノ人ヤ、動物園ニ能ク飼ハレ、食物ニハ穀物ヤ果物ヲ與ヘラレテ居ル、此室ヲ辭シテ左ヘ進ムト第三號室ノ前ヘ出ル

### 第三號 小禽室

此室内ニハ内外國産ノ小禽類ノ一部ガ雜居ニ飼ハレテ居ル、其名稱ヲ舉ルト左ノ通りデアル

○めじろ The Japanese White-Eye. (*Zosterops palpebrosa japonica* T. & S.) ハ日本産デ、じろシマツヨリ幾分カ大型ノ鳥デアル、我邦デハ、あかひげ、こまどり、おほるりノ如キ鳴禽ト共ニ籠鳥トシテ珍重サレル鳥デアル、食物ニハ摺餌ヲ與ヘテ居ル

○おにまじろ The Japanese Rose-finch (*Uragus Sanguinolentus* T. & S.) モ日本産デ雀位ノ大キサデアル

○まひわ The Siskin (*Acanthis spinus* L.) モ日本産デ、がはらひわヨリハ稍小サイ鳥デアル

○かはらひわ The Chinese Greenfinch (*Ligurinus sinicus* (L.)) モ又日本産デ、まひわヨリ大型デア

○すゝめ (雀) The Japanese Sparrow (*Passer montana* (L.)) モ日本産デ

○ほゝじろ The Bonapartes Japanese Bunting (*Emberiza cioides ciopsis* Bp.) モ日本産デ、雀ヨリ少シ小サイ鳥デアル

○あせじ The Temminck's Japanese Bunting (*Emberiza spodocephala personata* T.) モ又日本ニ産スルモノデ、大キサハほゝじろ位デアルガ、其色ハ稍蒼ミヲ帯ビテ居ル

○あせせじ The Yellow Breasted Bunting (*Emberiza aureola* Pall.) モ又日本ノ産デ、あせじヨ

リモ小型デ黄色イ部分ノ多イ鳥デア

○**シロ** The Siebold's Bunting (*Emberiza sulphurata* T. & S.) モ又日本産デ、幾分カあをじニ似テ居ルケレドモ、あをじヨリモ小サクテ、眼ノ周圍ニ白イ環ガアルカラ直グ判ル

○**まぎ** The Magafnch (*Munia maja* L.) ハマラツカニ産スル雀ヨリ小型ノ鳥デ、頭ハ乳白色、胴ハ褐色ノ鳥デア

○**あとり** The Brambling (*Fringilla montifringilla* L.) ハ歐羅巴及亞細亞ニ産スルモノデ、秋ニナルト群ヲナシテ日本ヘモ渡リ來ルモノデア

○**さんてう** The Java Sparrow (*Oryzornis oryzivora* L.) ハ爪哇、スマトラ地方ノ原産デアケレドモ、日本ニ在テハ、名古屋地方デ盛ニ繁殖サセテ居ル、大キサハ雀位デア

○**はくふんてう** 前者ノ變種デアツテ、羽色ガ雪白デ少シモ斑ノ無イノガ貴バレテ居ル

○**ぶんきんてう** ハぶんてうトさんばらノ雜種デ、大キサハさんばら位デア

○**じうしま** The Pied Mannikin (*Uroloncha domestica* Flower.) ハだんどくヤ、コレニ類似シテ居ル小禽ノ雜種ヨリ出來タモノデアロウト云フコトデア

○**きんばら** The Black Headed finch (*Munia atricapilla* Vieill.) モ印度産デ、大キサハあみばら位アル、而シテ頭ハ黒色デ胴ハ褐色デア

○**あみばら** The Nutmeg (*Munia punctulata* L.) ハ印度ニ産スルモノデ、大キサハへさてう位アル

○**かなりあ** The Canary Bird (*Serinus canarius* L.) ハ大西洋中カナリ島ノ産デ、現今ハ其變種ガ澤山ニ作ラレテ居ル、日本ニ在テモ能ク殖ヘルモノデア

○**おらし** The Yellow Bellied Liobrix (*Liobrix luteus* Scop.) ハ印度及南部支那ニ産スルモノデ、ぶんてう位ノ大キサデア

○**うづら** (鶉) The Japanese Quail (*Coturnix japonica* T. & S.) ハ日本及亞細亞ノ東部ニ産スルモノデ、從來ヨリ鳴禽トシテ飼養セラレタモノデア

○**てうせんみぶら** The Blanford's Quail (*Turnix blanfordi* Blyth.) ハうづらヨリ稍小型デ距カ無イ、朝鮮、滿洲、支那、馬來邊カラ印度マデ、大群ヲナシテ渡リ行ク鳥デア

以上ノ三種ハ摺餌ヲ以テ養ヘバ良イ、此小禽室カラ左ノ方ヲ見ルト、金網張ノ圍ヒガアル其レガ第四號室デア

#### 第四號 禽 舎

六

**○きじばと** The Eastern Turtle-Dove (Turtur orientalis (Lath.)) ハ又やまばとトモ唱へ、亞細亞ノ東部南部及日本ニモ棲ンデ居ルモノデ、食物ニハ穀物ヲ與ヘテ居ル、此禽室ノ左ノ方ヲ見ルト金網張ノ圍ヒガアル、其レカ第五號室デアアル

#### 第五號 鶉類飼養場

此飼養場ハ、鶉類ヲ放養ノ目的デ出來タ場所デアアルガ冬ニナルト寒サヲ厭フモノハ、外ノ場所ヘ寒サヲ避ケサセテ、夏ニナルト又此處ニ放ツコトモアル、當時飼ツテアルモノハ、きじ、かうらいきじ、きんけい、はくかんナドデアアル

**○きじ** The Japanese Green Pheasant (Phasianus versicolor Vieill.) ハ日本固有ノ鳥デ、能ク人ノ知ル所デアアル

**○かうらいきじ** The Chinese King-Necked Pheasant (Phasianus torquatus Gmel.) ハ亞細亞ノ東部ニ産スルモノデ、日本ニモ棲ンデ居ル場所ガアル、雄ノ羽色ハ、普通ノきじヨリモ淡色デ赤味ヲ帯ビテ居ルバカリデナク、頸ニ白色ノ羽デ取巻イタ環ガアルカラ直グ判ル、又きじや、かうらいきじノ雌ノ羽ハ其雄ノ様ニ美シイモノデハナイ

**○はくかん** The Silver Pheasant (Gennaens nychemerus L.) ハ支那ノ南部ニ産スルモノデ、其體

格モ日本ノきじヨリ幾分カ大キイモノデアアル、雄ハ背ヤ尾ノ羽ニ白色ノ所ガ多イカラ、此飼養場ノ中デハ直グ判ル、又雌ノ羽ハ、きじや、かうらいきじト異ツテ斑ノナイ茶褐色デアアルカラ、他ノ雌類ノ雌ト直グ見分ケガツクト思フ

**○きんけい** The Golden Pheasant (Chrysolophus pictus L.) ノ雄ガ居ル、俗ニきんけいてうハ唐ノにはとりト稱へ、支那ノ西南ノ山中ニ棲ムモノデ、雄ノ羽色ハ赤、黄、黒色ナドデ彩ドラレテ居ルカラ、實ニ見事デ、ヨク人ノ目ヲ惹クモノデアアルガ、其雌ハ他ノ雌類ノ様ニ餘リ美シクハナイ、一體鳥類ハ此雌類バカリデナク、大抵雌ヨリモ雄ノ方ノ羽色ガ美イトカ、又ハ美聲ヲ發スルコトノ出來ルノガ通例デアアル、

雌類ノ食物ハ穀物デ、時々摺餌ヤ蟲類ヲ與フレバ良イ、コレカラ左ヘ閑々亭ト稱スル古イ建物ノ前ヲ通ツテ更ニ左ヘ小坂ヲ下リルト、第六號鳥檻ノ前ヘ出ル

#### 第六號 鳥 檻

**○へんすいらん** The Swinhoe's Black-faced Spoonbill (Patala minor T. & S.) ハ羽ハ白色トアルケレドモ、顔ト、嘴ト、脚ハ黒色デアアル、尤嘴ノ色ハ、幼時ハ黒色デハナイガ、生長スルニ從ツテ黒色トナルデアアル、以前ハ本土ニモ居ツタモノデアアルケレドモ、現今ハ殆ンド居ナクナツタ、今此處ニ飼ツテアルノハ、朝鮮デ捕ヘラレタモノデ、魚類ヲ與ヘテ養ツテ居ル、又此ヘらさざト云フ名ハ其嘴ガ筥ノ様デアアルカラ名付ケラレタモノデアアル

七



此檻ニ向ツテ右へ進ミ、更ニ右へ折レテ前へ進ムト

第七號 象 室

此室ニ居ル象ハ明治二十一年ニ、暹羅皇帝カラ我 帝室へ寄贈ニナツタモノデアアル

**○いんどう** The Indian Elephant (Elephas indicus L.) ハ暹羅國ノ産デアアル、一體いんどうハ能ク人ニ馴レルモノデ、種々ノ用ニ使ハレタリ、又藝ヲ仕込デ見世物ナドニセラル、モノデアアルガ此ざうハ性質ガ最モ惡イノデ、其性質ヲ直サウト思ツテ、明治二十六年ニ暹羅國カラ、良ク馴レタ象扱人ヲ雇入レタコトモアツタガ、其扱人ハ此象ヲ半年程馴ラスヤウニ扱カツテ見タケレドモ、猛惡ナ象ダカラ、ドーシテモ馴ラスコトガ出来ナカツタ、此象扱人ノ話ニ依レバ、偶マ本國ニ此様ナ惡イ象ガ出来ルト銃殺シテ仕舞フノデアルト云フテ、此象ヲ使ヒ馴スコトヲ非常ニ怖ガツテ居ツタ、又畜養人ニ危害ヲ加ヘタコトモ數度アル、其レ故慘酷ノ様デアアルケレドモ、外ニ仕方ガ無イカラ、今デモアノ様ニ足輪ヲカケテ繋イデ置クノデアアル  
ざうハ世界ノ陸上ニ棲ンデ居ル動物ノ中デ、一番大キイ獸デアアル、太古ハ日本ニモ此ノ一種ガ棲ンデ居タノデアアルガ、今生キ殘ツテ居ル種類デハ、印度ニ産スルいんどうざうト、亞弗利加ニ産スルあふりかざうノ二種ノミデアアル、食物ニハ甘藷ヤ草、藁ナドヲ與ヘテ居ル  
象ヲ見テカラ、其室ノ右ノ方へ廻リ、象室ヲ後ニスルト、左へ登ル路ガアル、此路ヲ登リ詰メテ斜ニ右へ行クト第八號室ノ前へ出ル

*afica Indian*

第八號 猿 室

**○オウ** The Japanese Macaque (Macacus speciosus Cuv.) ハ日本固有ノ尾ノ短イ猿デ、此處ニハ數

多ク養ハレテ居ル、其年齢ガ三歳カラ五六歳マデノ間ハ、共同シテ活潑ニ遊ブ有様ガ面白イモノデ、此室内デハ、其遊戯ノ有様ヤ、又季節ニヨツテハ、其兒ヲ育テ有様ナドヲ充分ニ見ルコトガ出来ルノデアアル、食物ニハ甘藷、胡蘿蔔、雪花菜ナドヲ與ヘテ居ル、又此室内ニハ臺灣産ノ猿ヲ雜居サセルコトモアル

**○たいわんざる** The Formosan Rook-Monkey (Macacus cyclotis Swinhoe.) ハ臺灣ニ産スルモノデ

尾ノ長イ猿デアアル、此猿ハ樹上ニモ活動スルケレドモ、岩石ノ上ヤ、地上ヲ歩ムコトモ仲々得意ノモノデアアル

第九號 猿 室

**○いたきざる** The Pig-Tailed Monkey (Macacus nemestrinus Desm.) ガ居ル、コレハ爪哇ノ産デ、

其尾ハ割合ニ細ク短クテ、豚ノ尾ニ良ク似テ居ルカラ、ぶたをざるト云フノデアアル

第十號 猿 室

**○オウ** (第八號猿室ノ記事ヲ見ヨ) 此室ノ左隣ハ第十一號室デアアル

## 第十一號 鹿 室

10

第十一號ハ柵ニナツテ居テ其中ガ五區ニ分タレテ居ル、現今ハやぎ、らま、かもしか、ゐのし、のるナドガ飼ハレテ居ル、今順次ニ之ヲ舉ルト左ノ通デア

**○やぎ** The Goat (*Hircus laegagrus* Gray.) ハ今此處ニハ朝鮮産ノモノバカリデ、食物ニハ甘藷ト、雪花菜ヲ與ヘテ居ル

**○らま** 一名あめりからくだ The Lama (*Lama grama* Cuv. & Thomas.) ハ南亞米利加ニ産スルモノデ、普通ノらくだニ比ベルト、ズツト小型ノモノデ背中ニ瘤ガ無いノデア、此處ニ居ルノハ毛色ガ淡黒色デアルケレドモ、此外ニ褐色ヤ、白黒駁ノモノモアル、原産地ノ土人ハ、コレヲ家畜シテ、山地デ荷物ヲ運搬スルノニ用フルノデア、食物トシテハ麥ヲ與ヘテ居ル

**○かもしか** The Japanese Serow (*Capricornis crispus* (L.)) ハ日本ノ特産デ四國、九州、畿内ト東海道、東山道ト北陸道ノ如キ隣接セル森林、日光山脈、秩父山脈ノ如キ處ニ棲息シ、地方ニ因ツテくらし、あをし、にく、かまし、いはしか、かのし、ナドト稱ヘラレテ居ル、體ノ大キサハ鹿ヨリ小サクテ、其長サハ二尺五六寸デア、牝牡共ニ小サイ黒色ノ角ガアルガ、枝ノ無い角デ後ノ方ニ向イテ居ル、毛ハ灰黒色デアツテ長ク伸びテ居ル、懸崖デ踏場ノ無い様ナ岩山ヲ走ルノデ有名ナ動物デア、食物ハ主ニ樹葉デアルケレドモ、此處デハ雪花菜ト甘藷ヲ養ツテ居ル

**○あし** The Japanese Wild Boar (*Sus leucomystax* Gray.) カニ頭居ル、土佐國ノ産デ牝デア、カラ、成長シテモ其牙ハ、牡ノ様ニ目立ツテ大キクナラナイノデア、食物ハ甘藷、雪花菜、餠粕ナドヲ與ヘテ居ル

**○のる** 一名のろ The Manchurian Roebuck (*Capreolus bedfordi* Thomas.) ハ朝鮮ニ産スル鹿ノ類デ、其毛色ハ黄褐色デア角ガアルケレドモ、日本鹿ノ様ナ立派ナ角デハ無い、能ク人ニ馴レルモノデ、コレモ反芻獸デア、食物ニハ雪花菜ヲ與ヘテ居ル、此前ヲ通り過ギルト第十二號室ノ前ヘ出ル

## 第十二號 駱駝室

**○ふたひらくだ** (雙峰駝) The Bactrian Camel (*Camelus bactrianus* Gray.) ハ南西比利亞、蒙古、滿洲、支那ニ産スル反芻獸デア、其背ニ二ツノ瘤ガアルノデ、あらびあらくだノ瘤ノ一ツアルモノト區別スルコトガ出來ルノデア、らくだハ何レモ耕作其他ノ勞役ニ使フコトガ出來ルノデ、亞刺比亞旅行談ナドニアル様ニ、らくだニ騎ツテ亞刺比亞ノ砂漠ヲ越ヘルト云フノハ、此ふたこぶらくだデ無クテ、瘤ノ一ツアルあらびあらくだノ方ヲ使フノデア、又ふたこぶらくだヲ使ツテ趣味アル最近ノ一例ヲ舉ゲルト、明治三十七八年戰役ノ際、我軍ハ戰地ニ於テ、此ふたこぶらくだヲ以テ、駱駝縦列ヲ編成シテ兵站部ノ輜重用ニ使ツタコトデア、其毛ハ褐色ノモノト、乳白色ノモノトガ養ハレテ居ルガ、乳白色ノモノハ褐色ノモノ、變種デア、而シテ又八頭ノ中五頭ハ當園デ生レタモノデア、食物ハ馬ナドト同ジ様ニ、麥類、草等ヲ與ヘテ居ル、此十二號室ノ並ビニ運動場ガアツテ其次ギガ第十三號室デア

第十三號 駱駝室

(第十二號室ノ記事ヲ見ヨ)次ギハ第十四號室デア

第十四號 馬 室

○うさぎうま The Domestic Ass (Asinus vulgaris Gray.) ガ二頭居ル、普通ノ馬ニ比ベルト、其體格ハズット小サイケレドモ耳ハ長イ、頸モ脚モ丈夫デ我慢モ強ク、到底馬ナドノ歩行クコトノ出來ナイ坂路デモ、人ヲ乘セテ登ルコトガ達者デア、食物ハふたごぶらくだト同様デア、此馬室ヲ右ニシテ左ヘ曲レバ第十五號室ノ前ヘ出ル

第十五號 羚羊室

○れいやう (羚羊) The Black Buck (Antelope cervicapra) ガ一對居ル、印度ノ原野ニ棲ムモノデ朝鮮産ノのるヨリ稍大キイ、幼時ノ毛色ハ顔面、上頸、體ノ上部、四肢ノ外側等ハ黃褐色デ、下頸、胸、腹、尾下、四肢ノ内側等ハ白色デアケレドモ、成長スルトズット黑色ヲ帯ビテ來ル、牡ニハ枝ノ無イ黑色ノ角ガアルケレドモ、牝ニハ角ガ無イ、性質ハ怖デ易イノデ高跳スルコトガアル、又食物ニハ鹿ト同ジモノヲ與ヘテ居ル

第十六號 鹿 室

此鹿室ハ柵テ取圍マレテアツテ、二種ノ鹿ガ放養シテアル

○くわろく (花鹿) The Formosan Spotted Deer (Cervus taiouanus Blyth.) ハ臺灣ノ産デ日本鹿位ノ大キサデア、背ニハ判然トシタ花紋狀ノ白斑ガアルカラ、臺灣デハコレヲ花鹿ト稱ヘテ居ルノデア、臺灣ニハ尙此外ニ水鹿ト稱フルモノガアル、食物ニハ甘藷、雪花菜、餡粕、草等ヲ與ヘテ居ル

○しか (鹿) The Japanese Deer (Cervus sika nippon T.) ハ本邦産デ金華山ノ産デア、本邦ノ鹿ハ北海道カラ本洲、四國、九州ノ山地ニ棲ンデ居ルモノデ、此鹿類ハ馴鹿ト異ツテ牝ニハ角ガ無イノデア、食物ニハくわろくと同様ノモノヲ與ヘテ居ル、此柵ヲ辭シテ斜ニ左ニ向ヘバ第十七號室ノ前ヘ出ル

第十七號 猛獸室

此室内ニハ、とら、へうノ二種ガ養ツテアル、今配置ノ順ニ從ヒ之ヲ舉ゲルト左ノ通デア

○とら (虎) The Tiger (Tigris regalis Gray.) ノ牝一頭ガ居ル、とらハ亞細亞ノ中、支那、滿洲、朝鮮、西比利亞、印度、爪哇等ニ産スルモノデ、叢林、原野、沼澤地、岩窟ノ嫌ヒナク棲ヒ、又壞レタル建物ノ中ナドニモ棲ンデ居ルコトガアル、而シテ暖キ地方ニ棲ンデ居ルモノハ、寒イ土地ニ棲ンデ居ルモノヨリモ、其毛色ガ美シクテ且短イノデア

○う (豹) The Leopard (Leopardus pardus L.) ハ亞弗利加、亞細亞、印度、朝鮮、滿洲、南洋諸島等ニ産スルモノデ、其産地ノ遠フニ從ツテ、體格ヤ毛色ニ多少ノ相違ガアル、此處ニ飼ハレテ居ル

牝ハ印度産デ、牡ハ支那産デアルカラ、其毛色ヲ比ベルト幾分カ濃淡ガアル、又ヘラハ樹ニ攀テ昇ル  
コトガ出来ルノデ、トラヤシ、ヨリモ一層危険ナ動物デアアル

○くろへら ノ牝ガ一頭居ル、此ヘラハ普通ノヘラノ變種デ、馬來半島ジョホール國ノ産デアアル、此ヘ  
ラハ、同地デ日本人ノ營ンデ居ル護謨殖林地ニ出沒シテ、夜ニナルト、其日本人ノ家禽ヲ時々掠奪リ  
又ハ喰殺スコトガアツタノデ、遂ニ生擒リニセラレタモノデアアル、良ク見ルト普通ノヘラト同シ様ニ  
梅花形ノ斑點ガ、背ヤ胴ニ浮織ノ様ニナツテ見ユルノデアアル、トラ以下ノ猛獸ノ食物ニハ、牛乳ヤ鳥  
獸肉ヲ與ヘテ居ル、此猛獸室カラ右ヘ小坂ヲ下リルト、第十八號觀魚室入口ノ墜道ノ前ヘ出ル

### 第十八號 觀魚室

此觀魚室ノ水槽ノ中ニ

- ふな (*Carassius auratus* L.)
- ひな (*Carassius auratus* L.)
- きんぎょ (*Carassius auratus* L.)
- うな The Carp (*Cyprinus carpio* L.)
- うな (*Cyprinus carpio* L.)
- かぼりな (*Cyprinus carpio* L.)
- うすうす The Mirror Carp (*Cyprinus carpio* L.)

○うなぎ The Eel (*Anguilla japonica* T. & S.)

ナドガ居ル、尙此外ニ

○おんせうまを 一名はんげん The Giant Salamander (*Megalobatrachus japonicus* (T.)) ハかへるヤ  
ゐもりノ様ニ水ト陸トニ棲ムモノデアアルカラ、兩棲類ト云ハレテ居ル、古代ノ動物トシテ世界ニ名高  
イモノデアアルガ、今日其生キ残ツテ居ルモノハ、本州ノ西南部ノ山間ノ溪谷ト、支那ノ一小部ニ産ス  
ルノミデ、其大キナモノニナルト、大凡五尺ノ長サニ達スルモノガアルト云ツテ居ル、食物ニハ泥鰌  
ヲ與ヘテ居ル

○やしかに The Robber or Cocoa-nut-Crab. (*Birgus latro*) ハ東印度諸島ヤ、南洋諸島ニ産スルモ  
ノデ、我琉球ニモ棲ンデ居ルガ、此處ニ飼ツテアルノハ南洋ノ産デアアル、外皮ノ色ハ赭褐色ヤ、紫褐  
色デ大キナ缺ヲ持ツテ居ル、日中ハ穴ニ潜ンデ居ルガ、椰子ノ大樹ノアル處デハ、夜ニナルト穴ヨリ  
匍出シテ其樹ニ昇リ、缺ヲ以テ椰子ヲ切り落シ、厚キ殻ヲ破ツテ其實ヲ食物トスルノデアアル、此室ヲ  
出ルト直グ前ニ八角形ノ大鳥檻ガアル、コレガ第十九號室デアアル

### 第十九號 鶴 檻

○たんちやう (丹頂) The Sacred Crane (*Grus japonicus* Müll.) ガ飼ハレテアル、たんちやうハ西比  
利亞ニ産スルモノデ、夏ニナルト西比利亞ノ東部カラ朝鮮ヘモ來テ秋冬ノ頃ニナルト、支那及日本ニ  
渡ツタモノデ、我邦デハにつぼんづると稱ヘテ名高イモノデアツタガ残念ナガラ近頃デハ日本ヘ渡リ

來ルコトガ少クナツテ、僅ニ九州ノ一部ニ冬ヲ越シニ來ルモノガアルト云フ位デアアル、此處ニ飼ツテアルノハ雌雄デ、毎年二個ヅツノ卵ヲ産ンデ、自分ガ温メテ雛ガ出來ルト、直ニ之ヲ育タテルノデアアル、尙今後モ毎年一回産卵シテ、其雛ヲ育テルノヲ見ルコトガ出來ルデアラウト思フ、食物ニハ糞ト、泥鰌ヲ與ヘテ居ル、此檻ヲ辭シテ休憩店ノ方ヲ見ルト、其右ノ方ニ第二十號ノ鶴飼養場ガアル

第二十號 鶴飼養場

此場内ニハたんちやう、くろつる、おーすとらりあづるガ主ナルモノデアツテ、此外ニペリかん、ペンぐいん、おほせぐろかもめ、わに、かめ、とかげ等ガ寄留シテ居ル、此飼養場ヲ見ルニハ左ヘ左ヘト一周スルノガ順序デアアル

○だんちやう (第十九號鶴檻ノ記事ヲ見ヨ)

○くろつる The Common Crane (*Grus communis* Bechst.) ハ歐羅巴及北部亞細亞ニ産スルモノデ、羽ノ色ハ頸黒ク、背ノ羽モ少シ黒ミヲ帯ビテ居テ、胴ノ羽ハ淡褐灰色デアアルカラ、他ノ鶴ト雜居シテ居テモ直ク判ル

○おーすとらりあづる The Australian Crane (*Antigone australiana* (Gould).) オーストラリア固有ノ鶴デ、羽毛ハ濃灰色デ、咽喉ノ所ニ僅ニ黒色ノ所ガアルノト、頸ニ大キナ赤色ノ皮膚ガ裸出シテ居ルカラ直ク判ル

○おーすとらりあへりかん The Australian Pelican (*Pelecanus conspicillatus* T.) モオーストラリアノ産デアアル、大キナ嘴ヲ水ノ中ニ入レテ魚ヲ掬フト、下嘴ノ方ニ付イテ居ル皮ノ膜ガ、袋ノ様ニ膨レルカラ、口ノ中ニ澤山ニ魚ヲ入レルコトガ出來ル、夫レカラ上下ノ嘴ヲ閉メルト、自然ニ皮ノ膜ガ縮ンテ、口内ノ水ガ絞り出サレルカラ、其時初メテ口内ノ魚ヲ嚙込ムノデアアル、日本ニテハペリかんヲがらんでラト云フテ居ル

○ペンぐいん The Jackass Penguin (*Spheniscus humboldti* Meyen.) ハ南亞米利加智利ノイキケ海岸ニ於テ捕ヘラレタモノデアアル、南半球ノ海洋ニ棲息スルモノデ、其種類ハ十六種モアツテ、大キナ種類ニナルト、其高サガ四尺、重量ガ拾貫目以上モアルモノガアル、本國ニ飼ツテアル種類ハ南半球ノ温帶地海岸マデ遊ビニ來ルモノデ、頭ト頸ハ小サイガ胴ハ大キイ、全身ノ羽毛ハ極メテ短ク翼ハ小サク脚ハ太ク短クテ蹠ガ付イテ居ル、水中ニ這入ルト權狀ノ翼デ、巧ミニ游泳ヤ潜行ヲシナガラ、海中ニ游泳スル所ノ魚類ヲ捕ヘテ喰フノデアアルガ、陸上ヤ、岩石ニ登ルト直立ノ姿勢ヲ執ツテ、趾先デ歩ルクカラ、千鳥足ニ踏々ト進行クノデ、何時モ其翼ハ人ガ腕ヲ垂レテ居ル様ニ見ユルノデアアル、能ク人ニ馴レルモノデ、食物ニハ魚類ヲ與ヘテ居ル

○おほせぐろかもめ The Eastern Black-Busked Gull. (*Larus schistisagus* Stejn.) ガ一羽、ペリかんト同居シテ居ル、此かもめハ西比利亞カラ日本ニ産スルモノデ、ゆりかもめヨリ餘程大キイ鳥デアアル、嘴ハ黄色、脚ハ淡紅色デ、羽ノ色ハ、翼ノ表面ハ淡灰色デアアルケレドモ、頭、頸、肩、腹、尾等ハ白色デアアル

上記ノ鶴類ニハ食物トシテ泥鰌ト糞ヲ與ヘテ居ルガ、ペリかんトおほせぐろかもめニハ泥鰌、ペンぐ

いんニハ海魚ヲ與ヘテ居ル、又此飼養場ノ一部分ニハわた、かめト、とかげが飼ツテアルガ、冬ニナルト冬籠ヲサセルノデ、残念ナガラ見セルコトガ出来ナクナル

○あめりか、ありげーとー The American Alligator (Alligator mississippiensis Daud.) ハ北亞米利加ニ産スルワにデ、ミスシツビー河最寄ニ棲ンデ居テ、成長スルト其長サガ一丈六尺尺位ニナルノデ、北亞米利加ニハ採革用トシテ盛ンニ之ヲ飼養シテ居ル所ガアル

○しなありげーとー The Chinese Alligator (Alligator sinensis Fauvel.) ハ支那ノ揚子江ニ産スルモノデ、ようすこうありげーとートモ云ハレテ居ル、成長スルト其長サカ六尺位ニナルノデアル  
今此處ニ飼ツテアルノハ大キイ方ガ北亞米利加産、小サイイ方ガ支那産デ、獸肉ヤ、泥鰌ヲ食ベテ生活シテ居ルガ、コレモ夏ダケノコトデ、寒クナルト冬眠ト云フテ、全ク眠ツテ居ルヤウナ姿デ、運動ヲ廢シ食物モ全ク食ベナクナルノデアル

○もじとー The Water Monitor (Varanus salvator) ハとかげノ一種デ、錫蘭、馬來半島ヤ、馬來群島ニ産スルモノデ、此處ニ飼ツテアルノハ體長ガ約六尺デアルケレドモ、能ク成長シタモノニナルト七八尺位ニナルノデアル、黒色ノ皮膚ニ黄色ノ斑紋ガアルノデ奇麗デアルカラ、其皮ハ袋物ナドニ拵ヘラレルノデ、盛ニ捕ヘラル、ノデアル、普通藪林ニ棲ンデ居テ、陸上ヤ樹枝ノ上ニモ生息シ、又能ク水中ニ泳グコトガ出来ル、常ニ蛙、蛇、小形ノ哺乳類、鳥類其他鳥ヤ、爬蟲類ノ卵ヲ食物トシテ居ルノデアルガ、茲處デハ肉、卵、泥鰌ナドヲ與ヘテ居ル、日本ノ氣候デハ此もにとーも、わにヤ、かめト同シ様ニ寒クナルト冬眠スルモノデアルケレドモ、適當ニ温度ヲ加ヘテ置ケバ冬眠ハ止メテ仕舞フ

○やまがめ The Reeve's Turtle (Geoclemys reevesii Gray) ハ日本ノ中國ヨリ、畿内ニ野生シテ居ルケレドモ、支那ニモ又棲ンデ居ル、頸ヲ見ルト、淡綠色ヤ、黄綠色ノ縦線ガアル

○いしがめ The Japanese Tortoise (Clemmys japonica Gray) ハ日本固有ノ龜デ、淡水ノアル處ニ棲ンデ居ルガ、此龜ニハ頸ニ綠色ノ縦線ガ無い

○りらきうはこがめ The Japanese Box Tortoise (Cyclemys flavomarginata Gray) ハ又ヤヘヤまがめトモ稱ヘ、琉球及臺灣ニ産スルモノデ、頸ニ黄色イ縦線ガアル、前ノ二者ヨリモ、背ノ甲カ隆マツテ居ルカラ、幾分箱狀ヲ呈シテ居テ、腹ノ甲ハ中央デ蝶番狀ヲナシテ居ルカラ、此龜ガ物ニ怖レ、又ハ寒サヲ感ズル様ナ時ニハ、頸ト四肢トヲ悉ク甲内ニ包ンダ様ニ隠スコトガ出来ルノデアル

○かろりなはこがめ The Box Tortoise (Cistuda carolina L.) ハ北亞米利加ニ産シ、甲ノ構造モ前ノ者ニ良ク似テ居ルケレドモ、背ノ甲ニ現ハレテ居ル淡黄色ノ小サイ斑點ハ、前ノ者ニハ無いノデアル

龜類ノ食物モ主ニ肉類ヲ與ヘテ居ル、龜モ鰐魚ヤ蛙ト同ジ様ニ冬眠スルコトハ前ニ述ベタ通デアル  
此飼養場ハ、初メノ方デ案内シテ置イタ様ニ、休憩店ノ脇カラ見初メテ、左ヘ左ヘト一周スルト、ペんぐいんヤ、べりかんノ居ル所ガ見仕舞デアル、此處カラ北ノ方ヘ振向イテ見ルト、第二十一號ノ丸形ノ水禽檻ガアル

第二十一號 水禽檻

此檻中ニ養ツテアルモノハ、各種ノ水禽、つる、さぎ、うみう、どばと等デアツテ、之ヲ舉ゲテ見ルト左ノ通デアル

○まがも 一名あをくび The Mallard (Anas boschas L.) ハ亞細亞、歐羅巴、北亞米利加ノ大部分ニ居ル鳥デ、冬ニナルト南ノ方ヘ渡ツテ行クモノデアル

○かるがも The Duskey Mallard (Anas zonorhyncha Sw.) ハ東部亞細亞、日本、南ハ印度、錫蘭等ニ棲ンデ居ルモノデ、其雄ハまがもホド奇麗デナイ

○あひる The Domestic Duck. ハまがもヲ飼ヒ馴シテ出來タモノデアツテ

○まがん 一名かりがね The White Fronted Goose (Anser albifrons Scop.) ハ歐羅巴、亞細亞ノ大部、亞米利加等ガ産地デアツテ、冬ニナルト、南ノ方ニ渡ルカラ日本ニモ來ルノデアル

○こかりがね The Lesser White-Fronted Goose (Anser erythropus (L.)) ハまがんに良ク似テ居ルケレドモ其形ハ餘程小ナイ、尙ホ能ク見ルト上嘴ノ附根ニアル白色ノ斑ハまがんにヨリハ幅ガ廣イ、歐羅巴ヤ亞細亞ノ北部ガ産地デ、日本ヘ來ルコトハ罕デアル

○ひしくひ The Eastern Bean-Goose (Anser segetum serrirostris Sw.) ハ東部西比利亞ニ産スルモノデ、冬ニナルト日本ヘモ渡ツテ來ルモノデアル、まがんにヨリハズツト大キク、嘴ハ黒色デ其中程ニ黄色ノ横斑ガアルカラ直グ判ル

○がてう ハさかつらがん The Chinese Goose (Anser cygnoides Gmelin) ヲ飼ヒ馴ラシテ出來タモノデア  
○えんぶてんがん The Embden Goose モ又歐羅巴特ニ獨逸ニ於テ盛ニ養ハル、モノデ、がてうニ似

テ居ルケレドモ、嘴ノ附根ニ瘤ガ無イバカリデナク、其色モ違ツテ居ル

○えじぶとがん The Egyptian Goose (Alopochen aegyptiaca L.) ハ埃及産デ、嘴ハ割合ニ短クテ、桃色ノ地ニ多少ノ淡黒色ノ斑ガアル、脚モ桃色デ割合ニ長ク、翼ハ白、黒、淡褐、濃褐、紫紺色等ノ配合ガアル、此外眼ノ周圍ニ栗色ノ大キナ斑ト、頸ノ周圍ニ同シ色ノ環ガアルト、胸ト腹ハ淡褐色ノ地ニ同ジ色ノ横波形ノ小紋ガアルノデ直グ判ル美イ鳥デアル

○まだらがん The Half-Webbed Goose (Anseranus semipalmata Lath.) ハオーストラリア及タスマニアニ産スルモノデ、嘴ハ青黒色デ割合ニ長ク、眼ノ下ヨリ上嘴ノ中央マデハ淡紅色ノ所ガアツテ、嘴ノ先ハ下ノ方ニ曲ツテ居ル、脚ハ黄色デ割合ニ長イケレドモ、蹠ハ僅ニ付イテ居ル、胴ハ白色デ、頭、頸、翼、尾、股等ハ黒色デ、普通ノ雁トハ餘程違ツテ居ルカラ直グ判ル

○はくてう The Bewick's Swan (Cygnus bewicki yarell.) ハ北東歐羅巴ト、北部亞細亞ニ居ルモノデ、冬ニナルト日本ニ渡ツテ來ルまがんにヨリ大キイ白イ鳥デアル

○こぶはくてう The Mute Swan (Cygnus olor (Gm.)) ハ歐羅巴ヨリ亞細亞ノ北部ニ棲ンデ居テ、冬ニナルト印度、亞弗利加ノ北方ニモ渡リ行クモノデ、歐羅巴及北亞米利加ニテハ、コレヲがてうノ様ニ家禽トシテ養ツテ居ル、又ははくてうノ游泳スル姿勢ハ甚立派ナモノデアル

此檻内ニ居ルはくてうト、こぶはくてうト、がてうト、えんぶてんがんノ四種ヲ、一目ニ見分クルノモ肝要デアルカラ、簡單ニ之ヲ述ベテ見ルト

◎はくてうノ羽毛ハ白色デ、頸ガ長ク、嘴ノ附根ガ黄色デ其外ハ黒ク、脚モ又黒色デアル

◎こぶはくてうノ羽毛モ白色デ、頸モ長イガ、上嘴ハ淡紅黄色デ、其附根ト尖ノ方ハ黒イ、脚ハ暗黒色デ、而シテ上嘴ノ附根ノ處ニ黒色ノ小サイ瘤ガ突出シテ居ルノデ、こぶはくてうト云ハル、ノデア

◎がてうハはくてうヨリ頸ガ短クテ、嘴ト脚ハ黄色デアガ、羽毛ハ元來さかつらがんニ似タ褐色ノモノデ、白色ノモノハ其變種デア、今此處ニ飼ツテアルノハ、白色ノモノト、白地ニ淡赤褐色ト、淡黒褐色ノ斑ノアルモノトデ、何レモ上嘴ノ附根ノ上ニ瘤ガアルカラ直グ判ル、其瘤ノ高イノガ雄デ、低イノガ雌デア

◎えんぶてんがんハ鳴聲モ、頸ノ長サモがてうト略同ジデアガ、嘴ハ淡紅黄色デ、脚ハ淡桃色デア、元來羽毛ハ白色デアケレドモ、此處ニ飼ツテアルノハ、斑ノアルがてうニ似タ色ノモノガ居ル、只上嘴ノ附根ニ瘤ガ無イカラ、直ニがてうト見分ケルコトガ出來ル

○くろくわ The Black Swan (Chenopsis atrata (Lath.)) ハ南オーストラリアト、タスマニアニ産スルモノデ、羽毛ハ煤色ヲ帯ビタ黒色デアガ、風切羽ニハ白色ノ所ガアル、又上嘴ハ深紅色デ、其先ニ近イ所ニ白色ノ部ガアツテ其脚ハ黒色デア

○うみち The Common Cormorant (Phalacrocorax carbo L.) ハ又しらがうトモ唱へ、世界ノ大部分ニ産シ、日本ニ在ツテモ至ル所ニ産スルモノデア、鶺鴒ト唱へテ、水中ノ魚ヲ捕ヘルノニ使フノハ、此うみちデハ無クテ、かはうト唱ヘル方ヲ用フルノデア

○たんちやう (第十九號鶴鑑ノ記事ヲ見ヨ)

○まなづ The White Naped Crane (Grus leucanuchen T.) ハ東部亞細亞ニ産スルモノデ、前額ヨリ顔ノ側面ノ皮膚ハ赤色デ、嘴根ニ近イ所ニハ黒色ノ細カイ羽ガ生ヘテ居ル、嘴ハ蒼ク、脚ハ紫ヲ帯ビタ赤色デア、羽毛ハ、喉下ト、頸ノ後側ヨリ肩ノ所マデハ白色デ、頸ノ前側ヨリ、背ヤ腹ノ部分ハ蒼黒色デ、尾ノ方へ行クト淡色デア、往時ハ日本ニ渡ツテ來テ冬ヲ越シタモノデアケレドモ、近頃ハ渡ツテ來ルコトガ少クナツタ、今デハ鹿兒島縣下ニ一箇所來ル所ガアルト云フコトデア

○なぐさ The White-Headed Crane (Grus monachus T.) ハ亞刺比亞ヨリ滿洲邊ニ産スルモノデ、まなづヨリ餘程小サイ鶴デア、額ハ赤色ノ皮膚ニ黒色ノ細カイ羽ガ生エテ居テ、嘴ハ蒼黒色、脚ハ黒色デ、眼ノ瞳孔ハ黒イケレドモ、其周圍ハ赤色デア、羽毛ハ頸ハ白色デ、其他ハ蒼ミヲ帯ビタ淡黒色デア、冬ニナルト南支那ヨリ、日本マデ來タモノデアガ、近頃ハ殆ンド來ルコトガ少クナツテ、只山口縣下ニ一ヶ所、鹿兒島縣下ニ一ヶ所、越冬ニ來ル所ガアルトコトデア

○うさぎ The Little Egret (Herodias garzetta L.) ハ南歐羅巴、中央及南部亞細亞、亞弗利加等ニ棲ンデ居ルモノデ、此檻内ノモノモ、毎年五六月頃ニナルト、松ノ枝ヘ巢ヲ作ル有様ヤ、其雛ヲ育テルノヲ見ルコトガ出來ル、又こさぎノ背ノ上ニ立派ニ生ヘテ居ル雛羽ハ帽子ノ飾ナドニ貴バル、モノデ、頗ル價ノ高イモノデア、此外ニ白色ノ羽ヲ持ツタ鷺ニ、ちうさぎト、だいさぎナルモノガアツテ、何レモ雛羽ヲ持ツテ居ルガ、高價ナルこさぎノ雛羽ニ較ベテハ著シク劣ツタモノデア

○うさぎ The Night-Heron (Nicticorax nicticorax L.) ハほしごゐ又ハせぐるごゐトモ云ハル、モノ



デ、歐羅巴、亞細亞、亞弗利加ノ大部分ニ産シ、日本ノ各地ニモ棲ムモノデアル、此檻内デ、こさぎト同ジ様ニ、松ノ枝ニ集テ作ツテ雛ヲ育テルノガ見ラレル、又ほしごゐトハ幼鳥ノ間、其羽毛ニ小サナ白イ點ガアルカラ名付ケラレタモノデ、其レガ三年ノ後ニナルト、背ノ羽毛ガ全ク變化シテ、淡青ミヲ帯ビタ黒色トナリ、頭ノ方ハ背ヨリモ其色ガ濃クナツテ、頭ノ後ノ方カラ、長イ飾毛ガ垂レル様ニナリ、又初メニ青カツタ嘴ハ黒色ニ變リ、青黄色デアツタ脚モ、赤ミヲ帯ビル様ニナル、此時代ガせぐろごゐト稱ヘラレル時デアアル

**○あをさぎ** The Heron (*Ardea cinerea* L.) ハみごゐ又ハみとさぎトモ唱ヘ、せぐろごゐヨリ遙ニ大キク、歐羅巴、亞細亞、亞弗利加等ニ擴ガツテ棲居ルモノデ、本園ニ飼ツテアルノハ朝鮮産デアアル、一體鷺類ハ直立不動ノ姿勢ヲ執ルモノデアアルガ、殊ニ此あをさぎが頸ヲ充分ニ伸シテ直立不動ノ姿勢ヲ執ツタトキハ立派ニ見エルモノデアアル

**○こうのとり** The Japanese Stork (*Ciconia boyciana* Sw.) ハ東部西比利亞、朝鮮、日本ニ産スルモノデ、今此處ニ飼ツテアルノハ、秋田縣下デ捕ヘラレタモノデアアル、嘴ハたんちやうや、まなづるヨリ長ク、眼ノ周圍ノ皮膚ハ赤色デ、眼球ノ瞳孔ハ黒イケレドモ、其周圍ハ銀色デ、脚ハ淡紅色デアアル、羽毛ハ頭、頸、背、胸、腹等ハ白色デ、翼ノ一部ハ黒色デアアル、又頸ノ前ニハ垂毛ガ總々ト下ツテ居ル、此鳥ハ明治初年ノ頃マデハ、日本ニモ澤山ニ居ツタケレドモ、當時ハ殆ンド居ナクナツタトハ云ヘ、時々内地ニ集テ營ムコトガアル

テ居ル

**○んばと** The Domestic Pigeon (*Columba domestica* Gmel.) ハかはらばとト唱フルモノヲ飼ヒ馴シタモノデアアル

**○つかひばと** ハ普通でんしよばとト稱ヘ、コレモかはらばとト飼ヒ馴ラシタモノデアアルガ、此つかひばとハ、往昔亞刺比亞人ガ、通信ノ用ニ使ツタモノデアツテ、其後歐羅巴ノ諸強國ハ、軍事ノ通信ニ使フ様ニナツテ、日本ニ於テモ一時ハ軍事通信トシテ養ツタコトガアルガ、其後中絶ヘテ居タノヲ此頃ニナツテ又飼養スル様ニナツタ、此はと類ノ食物ニハ黍、粳、青葉等ガ與ヘテアル、此大鳥檻ノ西ノ方ニアル八角形ノ小水禽室デ、ソレガ第二十二號室デアアル

第二十二號 小水禽檻

**○ともがも** The Spectacled Teal (*Nation formosum* (Georji.)) ハ西比利亞ニ産スルモノデ、冬ニナルト、日本ヘモ渡リ來ルモノデアアル、雄ハ頬ノ兩側ニ樺色ノ羽デ、ニツバノ模様ヲ現ハシテ居ルカラ見分ケ易イと思フ

**○よしがも** The Falcated Teal (*Eunetta falcata* Georji.) ハ亞細亞及日本ニモ産スルノデ、雄ノ羽色ハ奇麗ナモノデアアル

**○せしどり** The Mandarin Duck (*Aix galericulata* (L.)) ハ東部亞細亞ニ産スルモノデ、日本ニモ棲ンデ居ル、雄ハ鴨類ノ中最モ奇麗ナモノデアアル

○をながも The Pintail (*Dasia acuta* (L.)) ハ歐羅巴、亞細亞、亞米利加等ノ北部ニ産スルモノデ、日本ニテハ千島ヨリ臺灣マデ棲ンデ居ル、雄ノ羽ハ特ニ外ノ鴨ト違ツテ、尾ノ中央ノ羽ガ細長ク伸ビテ居ル

○びどりかも The Widgeon (*Mareca penelope* (L.)) ハ又あかがしらトモ唱ヘ、歐羅巴ニ棲ンデ居テ、日本デハ冬ニナルト、千島カラ臺灣ニ棲ム様ニナル、其雄ハあかがしらノ名ノ如ク、頭ニ栗赤色ノ羽毛ガアルカラ、他ノ鴨ト見分ケ易イ

○こかも The Common Teal (*Nation creca* (L.)) ハ歐羅巴、亞細亞等ニ棲ンデ居ル、日本ニ於テモ冬ニナルト千島カラ臺灣ニ至ルマデ、コレヲ見ルコトガ出來ル、鴨類中ノ小形ノモノデアアル以上ノ六種ハ鴨科ノモノデアアルガ、鴨科ノモノハ、雁科ノモノト違ツテ、雌ト雄トノ羽色ヲ比較シテ見ルト、大抵雄ノ方が美麗ナ羽ヲ以テ飾ラレテ居ルモノデアアル、又をしどり以下五種ノ食物ニハ稗、粃、青菜等ヲ與ヘテ居ル

○ゆりかもめ The Black Headed Gull (*Larus ridibundus* L.) ハ歐羅巴、亞細亞ニ産シ、日本ニ在テハ北海道以北ノ地ニ産シ、冬ニナルト臺灣マデ渡リ行ク所ノ愛ラシキ鳥デアアル、冬ニナルト其頭ノ羽色ガ白クナリ、夏ニナルト頭巾ヲ被ツタ様ニ黒色ニ變化スルモノデアアル、又此かもめハ古クヨリ、みやこどりト稱ヘラレテ居ルソウデアアルガ、眞ノみやこどりハ鵲科ニ屬スルモノデ、コレトハ全く違ツタモノデアアル

○つみね The Temminck's Gull (*Larus crassirostris* Vieillot.) コレモ日本ニ産スル鴨科ノ鳥デアアルテ、ゆりかもめヨリ大型デアアル

○オウソウ一名みのこ The Australian Mangrove Heron (*Butorides: amurensis* Schenk.) ハ東部亞細亞、日本、フキリツピン、爪哇等ニ居ルモノデ、せぐろごむヨリモ、餘程小サイ美シイ鶯デアアル、以上ノ三種ニハ食物トシテ泥鰌ガ與ヘラレテ居ル

○おねはる The Demoiselle Crane (*Grus virgo* L.) ハ歐羅巴、西比利亞、中部亞細亞邊ニ棲ムモノデ、鶴類中ノ最小型ノモノデアアルガ、嘴ハ蒼黒色デ尖ノ方ハ赤ク、脚ハ黒色デアツテ、羽毛ハ頭ノ兩側ト、頭ノ前ノ方ハ黒色デ、背ヤ腹ハ青灰色デアアル、又眼ノ後カラ頭ノ後ニ向ツテ靡ケル白色ノ小羽ヤ、胸ノ前ニ垂レテ居ル黒色ノ羽、腰ニ延ビタル灰黒色ノ簀羽ハ何レモ此鶴ノ立派ナ飾デアアル

○ばん The Water-Hen (*Gallinula chloropus* L.) ハ歐羅巴、亞細亞、亞弗利加及日本ノ各地ニ棲ンデ居テ、羽毛ハ頭黒ク、腹ハ淡黒色デアアル、背ハ幾分黒ミテ帯ビタ煤色デ、胸ノ脇ト、尾ニハ白色ノ所ガアル、額ニアル裸出ノ冠ト、嘴ト、脚トハ蒼色デアアルガ、股ニハ赤色ノ所ガアル、此鳥ノ冠ヤ嘴ハ、平生ハ蒼黄色デアアルガ、毎年四五月頃ニナルト、雄ノ嘴ハ特ニ赤色ヲ持ツテ來ル

○おほばん The Common Coot (*Fulica atra* L.) ハ歐羅巴、亞細亞ノ大部、日本ニモ産スルモノデ、こばんヨリハ大型デ、額ニ在ル冠ト、嘴ハ白色ノ地ニ淡イ紅色ヲ含ンデ居テ、脚ハ蒼色ノ地ニ赤黄色ヲ持ツテ居ル、而シテ趾ノ兩側ニ木葉形ノ擴ガリガアルカラ直グ判ル

○せいけい The Water Cock (*Gallinix cinereus* Gmel.) ハ支那、印度、フキリツピン、日本ニモ棲ンデ居ルモノデ、形貌ハおほばんニ似テ居ルケレドモ、更ニ大キク、羽ノ色ハ背ニ在テハ黒ク、喉下ヨ

リ胸ノ邊ハ青ク、胸ノ兩側ハ瑠璃色デアツテ、額ノ裸出セル所カラ嘴マデハ赤色デ、脚モ亦赤ク、其脚ト趾ハ割合ニ長イカラ、ばんヤ、おほばんと見分ケルノハ容易デアアル、又あねはづる以下三點ニ與ヘル食物ハ黍、稗、泥鰌等デアアル

○むくどり The Starling (*Spodiopsar cinereus* (L.)) ハ本邦ニ産スル鳥デ、「ひよどり」位ノ大キサデアアル、食物ニハ摺餌ヲ與ヘテ居ル

此水禽室ヲ一週シテカラ、此室ノ北寄ノ煉瓦造ノ小禽室ヲ見ルノガ順序デアアル

### 第二十三號 小禽室

此室内ニハいんこ類其他ノ小禽ガ籠ニ入レテ陳列シテアル、其品目ハ左ノ通りデアアル

○おほばたん (第二號室記事ヲ見ヨ)

○きばたん The Greater Sulphur-Crested Cockatoo (*Neutua galerita Lath.*) ハオーストラリアニ産スルモノデ、明治三十三年ニ同洲ノメルボーンノ動物園カラ贈ラレタモノデアアル、此鳥ガ物ニ興奮スルト、頭ニ在ル黄色ノ冠羽ヲ起テ、鋭イ叫聲ヲ發スルモノデアアルガ、其黄色ノ冠羽ハ此鳥ノ靜マツテ居ルトキニハ見エナイノデアアル

○こばたん The Lesser Sulphur-Crested Cockatoo (*Cacatua sulphurea (Gmel.)*) ハこはいんこトモ云フテ居ル、セレベス、モルツカ諸島ニ産スルモノデ、嘴ト脚ハ黑色、羽毛ハ全身白色デアアルガ、冠羽ト、眼ノ下ト、上嘴ノ附根ニハ黄色ナ所ガアル、さばたんノ眼ノ下ヤ、嘴ノ附根ニハ黄色ノ所ガ無ク

テ、形モ又さばたんノ方ガ大キイノデアアル

○たいはくあうむ The Great White-Crested Cockatoo (*Cacatua alba (Mill.)*) ハモルツカ島ニ産スルモノデ、其嘴ヤ脚ノ色カラ、其大キサヤ形マデ、おほばたんニ良ク似テ居ルケレドモ、たいはくあうむノ冠羽ハ、白色ノ無地デ、おほばたんノ様ニ朱鷲色ヲ帯ビテ居ナイカラ見分ケガ容易デアアル

上記ノ三種ハおほばたんト同ジ様ニ、飼ヒ馴ラシテ物真似ヲ教エルト、巧ミニ其真似語ガ出來ル様ニナル鳥デアアル

○あかくさいんこ The Pennant's Parakeet (*Platyceurus elegans (Gm.)*) ハニュー、サウスウエールスニ産スルモノデ、ごしさせイがさいんこヨリ稍大キク、頭ト、胸ト、腹ハ赤色デ、喉下ト、翼ト、尾ニハ青紫色ノ所ガアツテ、背ノ上ハ、赤ト黒ノ羽毛ガ混ツテ居ルカラ、其配合ガ美シイノデアアル、此さいんこハ又ひくさいんこトモ呼バレテ居ル

○せきせいさいんこ The Zebra Parakeet (*Melopsittacus undulatus Shaw.*) ハオーストラリアニ産スルモノデ腹ハ綠色、翼ノ部ハ綠黄色デ、背ヤ翼ノ上ニ黒點ノアル小形ノいんこデ、日本ニ在テモ能ク蕃殖スルモノデアアル

○ぶぶろいんこ The Purple-Capped Lory (*Lorius domicella (L.)*) ハアンボイナノ産デ、ごしさせイがいいんこヨリ幾分小サク、嘴ハ赤黄色デ、脚ハ黒イ、頭ハ黒ミヲ帯ビタ色デ、肩ハ金綠色、其他ハ鮮紅色デ美シイ鳥デアアル

○だるまさいんこ The Moustache or Banded Parakeet (*Palaeornis fasciata (Mull.)*) ハ印度ノベンガルヨ

リ、交趾支那等ニ産スルモノデ、こせいがいいんこヨリ稍小サク、嘴ハ赤色、脚ハ蒼白色デ、眼ト眼トノ間及咽喉下ハ黒ク、胸ハ淡赤色デ、頭ハ淡藤色、其他ハ大體綠色デアル、此鳥ノ頭ト顔ノ處ヲ前ノ方カラ見ルト、達磨ニ似テ居ル様ニ見エルノデ此名ガアルノデアル

**○こせいがいいん** The Red or Saff-Breasted Parakeet (*Psittentelus chlorolepidotus* (Kuhl.)) ハオーストラリアニ産スルモノデ、ごしきせいがいいんこヨリ少シ小型デアル、嘴ハ淡赤色、翼ノ内側モ赤色デ、其他ハ大體綠色デアルケレドモ、胸ニハ黄色ナル羽ガ混ツテ居ル

**○にしきせいがいいん** The Blue Mountain Lory (*Trichoglossus novae-hollandiae* (Gün.)) モオーストラリアニ産スルモノデ、あかくさいんこヨリ稍小サク嘴ハ淡赤ク、頭ト、咽喉部ト、腹ハ青紫色、胸ハ赤黄色デ、背ノ上ハ綠色デアル

**○びんぐろしきせいがいいん** The Ornamental Lorikeet (*Trichoglossus ornatus* (L.)) ハセレンス島ニ産スルモノデ、こせいがいいんこト同大デアル、嘴ハ淡赤ク、脚ハ黒ク、頭ハ紺黒色、頸ノ兩側ハ黄色デ、後額、頬、咽喉下ト尾ノ一部ハ赤ク、胸ハ赤色ニ黒ヲ混ジ、背ト腹ハ大體綠色デアルカラ、ごしきせいがいいんこヨリ美麗デアル

**○ひんこ** The Red or Maluccan Lory (*Eos rubra* (Gün.)) ハモラツカニ産スルモノデ、ごしきせいがいいんこヨリ稍小サク、嘴ハ淡赤色デ、眼ノ圍リハ黒ク、脚モ又黒色デアル、胸ノ羽ハ眼覺ル様ナ赤色デアルケレドモ、翼ト、尾ニハ瑠璃色ト黒色ノ羽ガアル美シいいんこデアル

**○かるかやいいん** The Grey-Headed Lovelird (*Agapornis cana* (Gün.)) ハマダガスカル島ニ産シ、い

んこ類ノ小形ノモノデアツテ、羽毛ハ大抵綠色デアルケレドモ、雄ノ頭ハ銀灰色デアル

**○めきしんぐろ** The Pez's Conure (*Conurus canicularis* (L.)) ハメキシコ及中央亞米利加ニ産スルモノデ、額ハ赤黄色、眼ノ周圍ハ黄色デ、頭ト翼ニハ青色ノ所ガアツテ、其他ハ概ネ綠色デアルケレドモ、腹ノ邊ハ淡綠色デアル

**○あかぼうしいん** The Red-Topped Amazon (*Chrysotis rhodocorytha* (Salv.)) ハ南亞米利加ノブラジルニ産スルモノデ、其名ノ示ガ如ク頭ガ赤イ、尤肩ト膝ニモ赤色ノ羽ハアルガ、其他ハ概ネ綠色デメきしこいいんこヨリ稍小型デアル

**○んぐろらん** The Red and Blue Macaw (*Ararauna* (L.)) ハ中央及南亞米利加ニ産スルモノデ、鸚鵡科中ノ最大キイ種類デ、其尾モ一番長イモノ、中デアル、今茲處ニアルノハ頭、肩、腹、尾ハ赤色デ、風切羽ハ青ク、翼ノ表ニ黄色ノ所ガアル、又此鳥ハ大型デアツテ其尾モ二尺以上ニ伸ルカラ、非常ニ眼ニ着キ易イモノデアル、上記ノ鸚鵡類ニハ黍、粳、玉蜀黍等ヲ常食トシテ與ヘテ居ル

**○んぐろらん** The Red-Eared Bulbul (*Obcorompsa jocosus* (L.)) ハ南支那ヨリ、印度及臺灣ニ産スルモノデ、頭ノ邊ハ黒色デ、同シ色ノ長イ毛冠ヲ豎テ、居テ、眼ノ下ニ赤ト白ノ小斑ガアツテ、咽喉ノ下モ白イ、ひよどりヨリ少シ小型ノ鳥デアル

**○んぐろらん** The Brown-Eared Bulbul (*Hypsipetes amaurous* (L.)) ハ日本ニ産スルモノデ、こうららんヨリ餘程大型デアル

**○おほるり** The Japanese Blue Flycatcher (*Niltava cyanocollina* (L.)) ハ東部西比利亞ヨリ、滿洲ノ東

部ヤ、朝鮮及日本ニモ産スルモノデ、背ハ瑠璃色ヲ呈セル美シイ小鳥デアアル、其囀ル聲モ甚ダ佳イモノデアアルカラ、籠鳥トシテ好鳥家ニ養ハル、モノデアアル

○こまどり The Japanese Robin (*Eritacus akahige* T.) ハ日本ニ産スルモノデ、雄ハ春ニナルト、美音ヲ以テ鳴囀ルモノデアアルカラ、おほるりナドト同様ニ、籠鳥トシテ愛玩サレルモノデアアル

○あかひげ The Temminck's or Redbreast Robin (*Eritacus Komadori* T.) モ日本ノ産デ、鳴聲ガ佳イ爲ニ籠鳥トシテ飼ハレルモノデ、其大キサハこまどり位デアアル

○からいらいぐひす 一名わうてう(黄鳥) The Chinese Oriole (*Oriolus indicus* Jerd.) ハ印度ヨリ支那、臺灣、日本ニ在テハ特ニ九州ニ棲ンデ居ルモノデ、背、胸、腹等ノ羽毛ハ大抵黄色デアアルガ、眼ノ邊ヨリ頭ノ後ニ向ツテ、環ノ狀ヲナセル部分ト、翼ト、尾トハ黑色デアアル

○かけす 一名かしどり The Japanese Jay (*Garrulus japonicus* T. & G.) ハ日本固有ノ鳥デアツテ、嘴ガ太ク、羽色ハ、頭ハ白色デ黒イ縦縞ガアル、咽喉下モ白色デアアルガ、眼ノ下ハ黒ク、背ハ葡萄色デアアル、此鳥ハ自然ニ他ノ鳥ノ鳴真似ナドヲスルモノデ、人ヤ獸ノ語マデ真似ルヤウニナルモノガアル

○こくまるがらす The Palla's Jackdow (*Corvus dauricus* Pall.) ハ西比利亞、滿洲、支那、朝鮮等ニ多ク産スルモノデ、日本ニハ少イノデアアル、極小型ノからすデ、嘴ト脚ハ黑色デ、羽毛ハ頭、咽喉下、背、尻、尾等ハ黑色、頭ト腹トハ淡鼠色デアアル

○はつかてう ガニ種居ル、一種ハ臺灣、フクリッピン、中央及南部支那ニ産スル The Crested Mynah

(*Acridotheres cristatellus* (Gmel.)) デ大體ノ羽毛ハ黑色デアアルガ、嘴ハ青ク、脚ハ赤ミヲ帶ビ、冠羽ハ短ク、眼球ハ黄色デ、尾ノ尖ハ稍白イ、他ノ一種ハ、交趾支那、暹羅、カンボジア邊ニ産スル (*Acridotheres grandis* Moor.) デ大體ノ羽色ハ黑色デアアルガ、嘴ト脚ハ黄色デ、冠羽ハ前ノ者ヨリ長ク、眼球ハ褐色デ、尾ノ尖ノ白色ハ前ノ者ヨリ多イノデアアル、此等ノ鳥モ教ヘ込ムト、物真似ヲスル様ニナルトノコトデアアル

○きんぐわんてう The Greater Hill-Mynah (*Eulabe intermedia* (A. & Hay.)) ハ支那、印度、馬來等ニ産スルモノデ、美シイ光澤ヲ持ツタ黑色ノ鳥デ、はつかてうヨリ僅ニ大型デアアル、物真似聲ヲ出スノガ巧ナノデ、愛鳥家ノ好ンデ飼フ鳥デアアル

○みやまほじろ The Temminck's Yellow-Browed Bunting (*Emberiza elegans* T.) ハ西比利亞、滿洲、支那及日本ニ産スルモノデ、大キサハ普通ノほじろト大差ガナイ  
上記ノこうらうん以下みやまほじろニハ摺餌ヲ與ヘテ居ル

○きんぐわてう The Zebra Finch (*Taeniopygia castaneis* Gould.) ハオーストラリアニ産スル小型ノ鳥デ、じうしまつヨリ少シ小サイ、嘴ト、脚ハ赤色デ、雄ノ背ハ灰褐色デアアルケレドモ、雌ハ灰色デアアルガ、此他ニ黒、白、赤色等ノ羽ヲ以テ彩ラレテ居ル部分ガアル

○こうらうてう The Red-Billed Weaver-bird (*Textor niger* Smith.) ハ西亞弗利加ニ産スルモノデ、雀ヨリ稍小サク、嘴ハ赤色、脚ハ淡赤色、羽毛ハ胸ハ淡赤色デ、眼ノ下ト額ニハ黑色ノ所ガアル、此種ノ鳥ハ其巢ヲ面白ク巧ミニ作ルノデ名高イモノデアアル

○*Sturnella* The Cut-Throat Finch (*Amadina fasciata* Pass.) ハ西亞弗利加ニ産スル、雀ヨリ稍小  
 サイ鳥デ、羽毛ハ大體淡褐色デ、ソレニ小サイ黒點ガアルガ、雄デハ咽喉ノ下ニ赤色ノ横線ガ一本ア  
 ル、食物ハ前種ト共ニ黍、粟ノ如キ粒餌ヲ與ヘテ居ル

○*Uguisu* The Large Japanese Bush-warbler (*Horeyia cantans* T. & Schleg.) ハ日本固有ノ鳥デアル、  
 羽毛ハ世間デ能ク云フ鶯色デ、其雄ガ春ニナルト、最優レタ鳴聲ヲ發スルコトハ、皆良ク人ノ知ル所  
 デアツテ、日本鳴禽中ノ王ト唱ヘラレテ居ル

○めじろ (第三號小禽室記事ヲ見ヨ)

○*くろづぐみ* The Grey Japanese Ouzel (*Turdus curvis* L.) モ本邦産ノモノデアル、むくどり位ノ大  
 キサデ、嘴ト脚ハ蒼黄色、背ノ羽ハ黒ク、腹ノ羽ハ白色デアル

○しろはら The Pale Ouzel (*Turdus pallidus* Gmel.) ハくろづぐみヨリ幾分大形デ、嘴ハ黒ミ勝デアル  
 ケレドモ、脚ハ黄色デアル、又背ノ色ハ褐色ヲ帯ビタ鶯色デ、腹ノ色ハ背ノ色ヨリ淡ク、尻ノ方ハ白  
 色デアル

○*やまむすめ* The Formosan Blue Pie (*Uroisaea caerulea* Gould.) ハ臺灣ニ限り棲ムモノデ、かけすヨ  
 リ稍大キイ鳥デ、其尾モ又長イ、嘴ト脚ハ赤色デ、頭ノ羽ハ黒ク、背及腹ハ青色デ、尾ノ表面モ背中  
 ノ色ト同ジデアル

○めじろちめどり (*Alcippe morisania* Swinhoe.) モ其産地ハ臺灣デ、うぐひす位ノ大キサデアル、頭  
 部ハ濃灰色デ、背部ハ鶯ニ似タ色ヲ持ツテ居ル、眼球ハ黒色デ大キク、其周圍ニ白イ環ガアル

○はしごとちめどり (*Suthora bnlomachus* Swinhoe.) ハめじろちめどりヨリモ小型デ、頭ト翼ノ上面ハ

赤色ヲ含ンダ褐色デアル、背ト尾ハ淡黒灰色デ、胸ノ色ハ頭ノ方ヨリ淡ク、腹ハ背ヨリ淡色デアル

○*てつけい* The Formosan Bamboo-Pheasant (*Bambusicola sonorivox* Gould.) ハ臺灣ノ特産デ、さじば  
 とヨリ稍大キイ、嘴ハ蒼黒色デ、脚ハ綠色ニ褐色ヲ帯ビテ居テ、頭背部ハ濃灰色、其他ハ概ネ赤ミ勝  
 ノ褐色デアル

○*みやまてつけい* The Formosan Tree Partridge (*Arboricola erudigularis* Swin.) ホレモ臺灣産ノモノ  
 デ、大キサモ又てつけい位アツテ、其形モてつけいと似テ居ルケレドモ、其尾ハてつけいヨリ短イ、  
 嘴ハ黒ク、其脚ハ橙黄色デアル、頭ノ羽ハ濃灰色デ、前面カラ見ルト、眼ノ處ヨリ咽喉部マデ、交互  
 四線ノ黒色ノ横斑ヲ見ル、背ノ方ハ濃灰色ト赤褐色デ、腹ノ中央ハ白色デ其鳴聲ハ甚ダ調子ノ高イモ  
 ノデアル

上記ノうぐひすヨリみやまてつけいに至ルマデノ食物ハ皆摺餌ヲ與ヘテ居ル

○*ちやうしやうばと* The Zebra Dove (*Geopelia striata* Bris.) ハ印度、馬來、フィリッピン地方ニ産  
 スル小型ノ鳩デ、嘴ハ蒼ク、脚ハ淡赤色デ、羽毛ハ背ハ鼠色デ、腹ハ背ヨリ淡色デアル、此鳩ノ鳴ク  
 トキハ笛ノ細イ聲ニ似テ居ルト云フノデ、愛鳥家ノ好ンデ飼フモノデアル

○*しらこぼと* 一名じゆずかけばと The Common Turtle Dove (*Turtur risorius* L.) ハ土耳其、小西  
 細亞、印度、支那、セイロン及日本ニモ棲ンテ居ル、産地ニ因リ羽ノ色ニ多少ノ差異ガアルケレドモ、  
 何レモ頸ノ後半分ニ、黒色又ハ淡黒色ノ羽毛ガ、横線ニナツテ現ハレテ居ル、飼ヒ易イ柔和ナ鳩デア

○きんぼと ハ前ノ鳩ノ變種デ全身ノ羽ハ白色デア  
ル

○きんぼと The Green-Winged Dove (Chalcophaps indica L.) ハ廣ク亞細亞ノ熱帶近イ地方ニ産シ、  
我琉球ニモ棲ンデ居テ、雄ノ羽毛ハ金色ヲ帯ビタ綠色デア  
ルカラ、其雌ノ葡萄酒色ノ羽毛ヨリ美シイノ  
デア  
ル

上ニ記シタハトノ類ニハ食物トシテ、黍ヤ粟ヲ與ヘテ居  
ル  
今度ハ此第二十三號室ヲ右ニ見テ前ヘ進ムト、古イ池ノ縁ヘ出ル、此池ニハ鯉ト金魚ガ居ルカラ夏ハ  
ソレヲ見ナガラ、此池ノ縁ヲ通リ越スト第二十四號室ノ前ヘ出ル

第二十四號 禽 室

此室ニハ時ニ因リ小獸ヤ、爬蟲類ヲ陳列スルコトモアルガ、大抵禽類ノミヲ置ク積デア  
ル  
かんむりばとガ二種居ル、何レモニューギニアノ産デ、ほろほろてう位ノ大キサノはとデ、美シイ鳥  
デア  
ル、其一種ハ

○びくとりあかんむりばと The Victoria Crowned-Pigeon (Goura victoria Frisss.) ハほろほろてう位ノ  
大キサノ鳩デ、前頸ト胸ハ紺色デ、背ヤ尾ノ大部分ハ鐵色デア  
ル、翼ノ中央部ト、毛冠ト、尾尖ノ色  
ハ、背ヤ、尾ノ大部ヨリズツト淡色デア  
ツテ、先ノ方ニ白色ノ斑ヲ附ケテ居ル開扇狀ノ毛冠ハ、甚優  
美ナモノデア  
ル、他ノ一種ハ

○すれーたーかんむりばと The Schaler's Crowned-Pigeon (Goura schaleri Salvador.) ハ大抵前ノ鳩ト同ジ  
様ナ羽色デア  
ルガ、只翼ノ中央部ニ白斑ガアルト、毛冠ノ尖ニ白斑ノ無イノトデ違ツテ居ル、此二

種ノかんむりばとニハ、碎イタ玉蜀黍ヤ、黍ナドヲ食物ニ與ヘテ居  
ル

○さんけい (Gemmens swinhooi (Gould.)) ノ雌ガ居ル、臺灣ニ生息スルモノデ、其雄ハはくかんノ様  
ニ奇麗ナモノデア  
ル、雌モはつかんニ比ベルト中々美シイモノデア  
ル

○ちやうびけい (長尾雞) The Long-Tailed or Tosa Fowl (Gallus domesticus Brist.) ハ日本デ高知縣土  
佐國ノ、僅カノ村落ニ特産ノモノデア  
ツテ、しらふぢ(白藤)シのはらたう(篠原統)、とうてんこう  
(東天紅)ナドノ名稱ニ分タレテ居ル、今此處ニハしのはらたうダケガ飼ハレテアル、ちやうびけいノ  
雄ノ尾ハ、非常ニ長ク伸ビルモノデ、二丈ヨリ二丈四尺位ニ伸ビタ例ガアルト云フコトデア  
ル、而シ  
テ此雄ノ尾ヲ伸バスニハ、特別ニ狭イ箱ノ中ヘ、棲リ木ヲ作ツテ遣ツテ、年中其處ニ棲マラセレバ、  
自然ニ尾羽ガ伸ビテ行クケレドモ、地上ヘ飼ヒ放シテ置クト、折角伸ビタ尾羽ガ斷レテ仕舞フカラ、  
長ク伸ビナイノデア  
ル、本園ノ屬スル皇室博物館陳列ノ剝製中ニモ、雄ノ尾ノ長サガ八尺位ノモノヤ、  
一丈四尺以上ニ伸ビタモノナドガ飾ラレテ居  
ル

○ほろほろてう The Guinea Fowl (Numida meleagris L.) ハ以前西亞弗利加ニ産シタ鳥デ、昔時ハ歐  
羅巴ノ諸國ニ養ハレ、其後亞米利加ニ持チ行カレテ、西印度諸島ノ野生トナツテ非常ニ殖ヘタモノデ  
アル、又其鳴聲ハ隨分喧マシイモノデア  
ル

○いんぐくじやく (第一號室記事ヲ見ヨ)

○こんじういんこ (第二十三號室記事ヲ見ヨ)

○あをきまから The Blue and Yellow Mearw (Am arram) ハ中央亞米利加ニ産スル鸚鵡類デ、大キサハこうごういんこと同ジ位デ、其外貌モ能ク似テ居ルノデアアル、嘴ハ眞黒デ、背ト、咽喉下ト、尾ノ上表ハ青色デ、胸、腹、尾等ノ下表ハ黄色デ美シイ鳥デアアル

○もゝいろいんこ The Rosate Cockatoo (Cacatua roseicapilla Vieill.) ハオーストラリアノ産デ、頭ハ淡桃色、頸ト、胸ト、腹ハ桃色、背ヤ、尾ハ淡蒼ヲ帶ビタ灰色デアツテ、大キサハこばたん位デアアル、此いんこモ、物真似語ヲ教エルト、眞似ルコトガ出來ル様ニナル鳥デアアル

○をかめいんこ The Cockatiel (Calyptornis novaehollandiae (Gmel.)) モオーストラリアニ産スルモノデ、常ニ毛冠ヲ起テ、居ル、羽毛ハ雄ノ顔ハ黄色デアアルガ、雌ニハ黄色ノ部分ガ極少ナイ、而シテ雌モ雄モ、眼ノ後下方ニ、小指ノ尖デ押シタ位ノ赤色ノ斑ガアル、胸ハ大抵濃灰色デアアルガ、風切羽ニハ白イ所ガアツテ、尾ノ裏ハ、雄デハ淡黒色デアアルガ、雌デハ黄色デ黒イ横線ガアル、此いんこハ第二十三號室ニアルせさせいんこヤ、かるかやいんこト共ニ、日本ニ於テ繁殖スルコトノ出來ル鳥デアアル

○せしういんこ The Blood Rumped Parakeet (Psephotus haematonotus Gould.) モ又オーストラリアニ産スルモノデ、今此處ニ飼ツテアルノハ其雌デアアル、體格ノ大キサ、をかめいんこと同ジ位デアアルガ、をかめいんこノ様ニ、顔ニ黄色ヤ、赤色ノ所ト、毛冠トガ無イカラ直グ判ル、而シテ此雄ノ羽ハ中々美シイモノデアアル

○おほほんせすいんこ The Ginghalese Alexandrine Parakeet (Paleornis eupatria (L.)) ニ錫蘭島ニ

産スルモノデ、大體ノ羽色ハ綠色デ、頸ノ前ニアル黒色ノ横線ト、頸ノ後ニアル薔薇色ノ横線トガ、頸ノ兩側デ出遇ツテ、頸輪ノ形ヲナシテ居ルカラ、わかけほんせいんこトモ云フテ居ル

上ニ記セルさんけい以下おほほんせいんこニ至ルマデノ食物ニハ、黍ナドヲ與ヘテ居ル

○しらこぼと (第二十三號室記事ヲ見ヨ) 第二十四號室ヲ見終リ、此室ヲ後ニシテ事務所ノ前ヲ通り、南ニ進メバ右ノ方ハ裏門デ、左ノ方ガ第二十五號室デアアル

○てんぢくねずみ The Guinea Pig (Cavia cobaya Schreb.) ハ南亞米利加ニ産スルモノデ、兎ノ耳ヲ切リ捨テタ様ナ形ノ動物デアアルガ、兎ヨリハ遙ニ小サイ體格デアアル、毛色ハ白、黒、赤褐等ノモノガ多ク、性質ハ臆病デアアル、又てんぢくねずみノコトヲ俗ニもつとト云フテ居ルケレドモ、眞ノもつとトハ違フノデアアル

### 第二十五號 河馬室

○かば The Hippopotamus (Hippopotamus amphibius L.) ハ亞弗利加ノ湖水ヤ河水ニ棲ンデ居ル動物デ、其大キサハ象ノ次ギデテル、皮膚ノ色ハ磐石ニ似テ居ル部分ト、銅褐色ノ部分トヨリ成リ、鼻端、頸、耳縁、尾ニハ僅カニ鬃毛が生ヘテ居ル、顔ハ大キク、鼻ト口モ亦大キイ、頸ハ至テ太ク、胸ハ大樽ヲ横ヘタモノ、様デアアルケレドモ、肢ハ至テ短ク、尾モ亦短イノデアアル、かばハ群ヲナシテ水中ニ



棲息シテ居ルモノデ、其成長シタモノニナルト、大凡五分間位ハ水中ニ潜ンデ居ルコトが出来ル、水中ニ在テ泳イダリ、潜ツタリスルガ、其時ハ時々水面ニ鼻ノ端ヲ出シテ呼吸スルモノデアル、勞レテ來ルト、水中デ呼吸ヲ妨ゲナイ様ニ、岩石ヤ、崖脚ナドヲ枕ニシテ眠ツテ仕舞ヒ、日ノ暮ル、ノヲ待ツノデアル、頓テ日没トナリ夜ニ入ルト、食物ヲ求ムル爲ニ徐々水中ヲ出デ、陸上ニ行クノデアルカバノ肉ハ美味テ、良好ナル脂肪ヲ採レルシ、其皮ヤ、牙ノ需要モ多イノデ、濫リニ獵獲シタモノデアルカラ、現今デハ亞弗利加デモ其數ガ少ナクナツタノデ、容易ニ得難イ動物デアル

### 第二十六號 駝鳥室

此室ハだてうト、えみう、ひくひとりナドヲ飼フ積リデ作ツタモノデアルガ、えみうトひくひとりハ、原産地ナルオーストラリアニモ拂底ナノデ手ニ入り兼ルガ、手ヲ盡シテ收容スル積デアル、今ハえみうトひくひとりガ無イノデ、だてうトからくてうトきよんガ居ルノデアル

○だてう (駝鳥) *The Ostrich (Struthio camelus L.)* ハ亞弗利加ニ産スルモノデ、世界に生キ殘レル鳥類中ノ最大キモノデアツテ、脚ノ趾ハ二本デアル、雌ノ羽ハ灰色デアルガ、雄ノ羽ハ翼ト尾ノ外ハ黑色デアル、此鳥ハ走ルコトガ早イノデ、騎馬ノ儘追掛ケテモ、追ヒ付ケヌ位デアルト云フコトデアル、翼ハ僅ニ形ヲ遺シテ居ル丈デアルカラ、飛ブコトハ出來ナイノデアル、又此鳥ノ翼ヤ尾ニアル羽ハ、帽子、襟卷其他加工シテ衣服其他ノ裝飾ニ貴バレルノデ、非常ニ高價ナモノデアル  
此だてうハ毎年卵ヲ産ムガ、殻ハ白色で、其一個ノ重量ガ三百六十匁位カラ、四百八十匁位ノモノモ

アツタ

○からくんでう 一名しちめんてう (七面鳥) *The Turkey (Meleagris gallopavo L.)* ハ元ト亞米利加大陸ノ野生デアツタガ、今デハ此野生ノモノハ殆ンド無クナリ、家禽トシテ種々ノ變種ガ出來テ居ルガ、其原種ハ三種デアアル、顔カラ頸ニ續ク皮ノ色が時々變ルコトヤ、孔雀ガ翼羽ヲ起テル様ニ、尾ヲ舉ゲルコトナドハ、大抵ノ方が御承知ノコト、思フ

○きよん (麂) *The Formosan Muntjac (Muntiacus reevesi miorurus)* ハ臺灣ノ産デ、身長一尺五六寸程ノ小形ノ鹿デ、牡ニハ小サナ角ト、左右ノ上顎カラ小牙ガ下ニ向ツテ現ハレテ居ル、毛ハ褐色デ、舉動ハ快潤ナモノデアアル

此二十六號室ヲ後ニシテ前へ進ムト、ソレガ第二十七號室デアアル

### 第二十七號 暖室

此室ハ冬季ニナルト、寒氣ニ怖レル動物ノ冬籠ヲサスル處デアルカラ、大抵温帶ヤ、熱帶産ノ動物ガ陳列サレテアル

○おほりす *The Indian Giant Squirrel (Ratufa indica)* ハ印度産デアツテ、體ノ長サハ約一尺程ナルガ其尾ハ身體ヨリモ長イ、毛色ハ肩、腰及尾ハ漆黑色デ、頭、耳、後頭、背及外股ハ濃褐色、鼻上、兩耳間及兩前肢ノ外部ハ稍白ク、胸腹部ハ黄白色ヲ呈シテ居ル、栗鼠中ノ大型ノモノデアツテ、食物ニハ落花生ヤ栗ヲ與ヘテ居ル

○きんかじゆー *The Kinkajou* (*Cercopithecus caudivolutus* Illig.) ハ猫ヨリ少シ小サイ尾ノ長イ動物デア  
ル、中央カラ南亞米利加ニ棲ンデ居ル夜獸デア、ルカラ、日中ハ樹ノ上ニ眠ツテ居テ、日没カラ夜ニナ  
ルト、樹枝ノ上ヲ敏捷ニ徘徊シ食物ヲ求ムルモノデア、又此獸ノ特異ナコトハ、其長イ尾ヲ樹枝ニ  
卷付ケルコトガ出來ルノデ、往々例サマニ吊下ツテ食物ヲ喰ツテ居ルコトデア、食物ニハ果實ト菓  
子ヲ與ヘテ居ル

○いんどやまねこ *The Ounce* (*Felis onca* Gould.) ハ亞弗利加ノ北部ヨリ西亞細亞地方、北ハ裏海沿  
岸ヨリ東南ハ印度ノ地方等ニ棲ンデ居ル、其特徴トシテハ、耳ハ幅ガ廣クテ尖ノ方ニ稍長イ粗毛ガ生  
ヘテ居ルコト、四肢ノ上部ニハ必ず黒色ノ横斑ガアルコト、尾ハ他ノ野猫類ヨリ遙ニ短クテ、多少ノ  
黒色ノ輪ヲ備ヘテ居ルコト等デアツテ、其氣性ハ荒イカラ家猫ノ様ニ飼ヒ馴ラスコトハ容易ニ出來ナ  
イノデア

○のね *The Wild Cat* (*Felis sp.*) ハ三宅島ノ産デ、黒ミガ、ツタ淡褐色ノ毛ニ、褐色ノ細カイ横斑  
ガアル、而シテ全身一定ノ毛色ヲ持ツテ居ルガ、多分此やまねこハ、家猫ガ逸走シテ野生状態ニ變化  
シタモノ、系統デハアルマイカ、性質ハ猛猛デア  
以上二種ノねこニハ食物トシテ獸肉ヲ與ヘテ居ル

○ふらんじすと *The Phalangist or Common Plangier* (*Trichosurus vilpeula* Jenst.) ハオーストラ  
リアニ産スルモノデアツテ、主ニ夜ニナルト出テ歩ク動物デア、形ハ猫ヨリモ小サク、毛ハ淡褐色  
色ニ黒ミヲ帶ビテ居ル所ガアル、此動物モかんがるーヤ、うをびつとト同ジヤウニ、牝ノ腹ノ前ニ

ハ兒ヲ入レル袋ガアル、食物ニハ根菜類ト果物ヲ與ヘテ居ル

○おがさはらおほこうもり (*Pteropus pselaphon* Lay.) 小笠原島ニ産スルモノデ、皮膚ヤ毛色ハ黒色デ  
アル、前肢ト後肢ノ間ニ、飛膜ト云フ護膜様ノ伸縮自在ナル皮膚ノ繋ギガアルカラ、夜ニナルト飛ビ  
廻ツテ餌ヲ求ムルモノデア、又日中ハ樹ノ枝ヤ洞ニ倒サマニ吊リ下ツテ居ルカラ、外ノ動物トハ餘  
程様子ノ違ツテ居ルモノデア

○りうきうおほこうもり (*Pteropus dasymallus* T.) ハ琉球ニ産スルモノデ、前者ヨリ稍小サイバカリ  
デナク、毛ノ色モ頸ノ邊ハ白ク其他ハ褐色デア、以上こもり類ノ食物ニハ果實ト甘藷ヲ與ヘテ居ル  
○ほんねじと *The Bonnet Monkey* (*Macacus cinicus* Gray.) ハ印度ノ産デ、頭ニハ其名ノ如ク特別  
ナ飾毛ガ現レテ居ル

○ほけしと *Semnopithecus siamensis* G. Muller.) ハ小型ノ尾長猿デア、東印度諸島ノ産デ、身  
體ノ小サイ割合ニハ、其尾ガ餘程長イノデア

○くろや *The Black Ape* (*Cynopithecus niger* Lesson.) ハゼンベス島ノ産デ名高イモノデア、全  
身黒色ノ毛デ、頭ニハ毛冠ガ起ツテ居ル、髯ハ淡肉色デ、尾ハ殆ンド見ルコトノ出來ナイ程ノ痕跡  
ヲ止メテ居ルバカリデア

○あかげ *The Rhesus Monkey* (*Macacus rhesus* Audel.) ハ又べんがるトモ稱へ、印度産デ毛  
色ハ淡赤褐色デア、腰ノ邊ハ其色ガ濃クナツテ居ル、尾ハ割合ニ短イモノデ大抵六七寸位ノ長サデ  
アル

## ○ぶたきさる (第九號室記事ヲ見ヨ)

ぼんねつと以下ノ猿ノ食物ハ普通ノ猿ト同ジデアアルガ、くろぶるニハ其外ニ果實ヲ與ヘテ居ル

○がらがらへび 一名すゞへび *The Rattle Snake (Crotalus liefer Baird.)* ハ北亞米利加ニ産スル毒蛇ノ種類デアツテ、今此處ニ飼ツテアルノハ、合衆國テキサス洲ニ於テ捕ヘラレ其長サ約六尺デアアル、頭部ハ本邦産ノまじしニ似テ、扁タクシテ短ク幅廣ク、尾ノ尖端ニハ角質輪ト稱スル、「セルロイド」デ作ツタ様ナ、空洞デ關節ノアル附屬物ガアツテ、此蛇ガ尾ヲ起テテ振動スト、其附屬物ガ「ガラガラ」ト鳴ルノデ、俗ニ此蛇ヲがらがらへびト云フノデアアル、而シテ平生ノ食物ハ小鼠ヤ小鳥デア

ル  
此室ノ後ヘ廻リ斜ニ右ノ方ヲ見ルト、第二十八號室ガアル

## 第二十八號 北極熊室

○ほくきよぐま *The Polar Bear (Thalassarcos maritimus Dsm.)* ノ牝牡ガ居テ、其大キイ方ガ牝デアアル、グリーンランドノ産デ、熊屬中ノ猛惡ナモノデ、常ニ氷ヤ雪ノ絶ヘナイ北極ノ土地ニ棲ンデ居ルモノデアアル、水泳ノ巧ミナ動物デアアルガ、此處ニ飼養シテアルノハ池ガ小サイカラ、其中ヲ泳ギ廻ルコトガ出来ナイノデ、毎日何回トナク、水溜ノ中ヘ出入シテ水浴ヲスルノデ、嚴寒ノ頃ニナルト、水浴ヲシタ後デ全身ノ毛尖ニ氷柱ガ下ツテ、熊ガ歩ミ出スト、ザラリザラリト、音ノスルコトガアルカラ、冬ノ水浴ヲ見ルト、慄トスル様ナ氣分ガ起ルガ、夏ノ水浴ハ見テ居テ自然ト涼味ヲ感ズル様ニ

思ハレル、此熊ハ固有ノ白色デアアルカラ、第三十號ニアル、くまノしらこトハ全く違フタモノデアアル  
食物ニハ魚獸ノ肉ヤ、食麵麩ヲ與ヘテ居ル

此室ヲ見終リ、右ニ向ツテ第二十七號室ノ横ヲ通ルト、其左側ニ山ヘ登ル土橋ガアル、此土橋ヲ渡ツテ右ノ方ヘ登ツテ行クト、第二十九號ノ圍ノ前ヘ出ル

## 第二十九號 偶蹄類放養場

○となかひ 一名じゆんろく *The Reindeer (Rangifer tarandus L.)* ハ亞細亞、歐羅巴、亞米利加ノ極地ニ棲ンデ居ルモノデ、此處ニ飼ハレテ居ルノハ樺太産デアアル、一般ノ鹿ト違ツテ、牝牡共ニ角ガアツテ、能ク人ニ馳レル動物デアアル、土人ハコレヲ養ツテ櫓ヲ曳カセ、自ラ乗用ニシタリ、又客或ハ荷物ヲ運ブノニ廣ク使ハルルモノデアアル、となかひノ櫓ヲ曳ク力ハ非常ナモノデ、參拾貫匁位ノ重イ荷物ヲ、一時間八哩ノ速力デ、十五時間位續ケテ運ブコトガ出来ルト云フコトデアアル、食物ニハ花苔ヤ、鈴朶物ナドヲ與ヘテ居ル

## ○やぎ (第十一號室ノ記事ヲ見ヨ)

此第二十九號ヲ見終ルト、左ノ方ニ第三十號室ガ見エテ居ル

## 第三十號 熊 室

右ノ方カラ順次ニ列舉スルト

○**クマ** 一名あかぐま The Brown Bear (*Ursus arctos* L.) ハ北海道ニ産シタモノデ、褐色ノ長イ毛

ヲ被ツテ居ル、内地産ノクマヨリ體格モ大キイシ性質モ荒イノデア

○**ヒマラヤクマ** The Himalayan Black Bear (*Ursus tibetanus* Cuv.) ハ亞細亞大陸特有ノ熊デ、毛色ハ

黒イ、コレガ日本ニ産スル熊ノ先祖デアルト云フ説ガアル、今此處ニ飼ツテアルノハ、朝鮮ニ産シタモノデ、俗ニつきわぐまトモ云フテ、咽喉部ニアル黄白色ノ半月形ノ斑ガ大キイノデア

○**あめりかぐま** The American Black Bear (*Ursus americanus* Pall.) ハ北亞米利加ニ産スルモノデ、毛ノ色ハ黒イ又ひまらやぐまヨリハ其顔ガ幾分尖ツテ居

○**クマ** The Japanese Black Bear (*Ursus japonicus* Schleg.) ハ日本産デ、毛ハ黒色デア

捕ヘラレタモノデ、咽喉部ニ月ノ輪ト稱スル黄白色ノ斑ガアルガ、日本産ノモノハ一般ニ此斑ガひまらやぐまノモノヨリ小サイノデア

○**クマ** コレハ二頭トモ静岡縣下ノ産デア

○**クマ** ハ越後國産デ白毛デア

### 第三十一號 小肉食獸室

熊室ノ方カラ順次ニ記シテ見ルト

○**ぬくろー** The Nukto (*Canis* sp.) トハ朝鮮ノ方言デア

色、腹ノ方ハ灰白色デア

○**じろじろね** The Cross Fox (*Vulpes pennsylvanicus* Deussatus Geoff.) ハ北亞米利加、北海道及千島

群島ニ棲ンデ居ルモノデ、今此處ニ飼ハレテ居ルノハ樺太ト北海道ノ産デア

○**きつね** The Fox (*Vulpes japonicus* Gray.) ハ日本本州、四國、九州、北海道等ニ産スル穴居ノ動物デア

○**あらびぐま** The Raccoon (*Procyon lotor* L.) ハ亞米利加ニ産ズルモノデ、物ヲ食ベルトキニ、兩方ノ前肢デ、食物ヲ掴ムデ洗フ癖ガアルノデ、時々自分ノ産ンダ兒ヲ水中ニ入レテ、洗ヒ殺スコトナドガアルト云フコトデア

○**たぬき** The Raccoon Dog (*Nyctereutes procyonoides* Gray.) ハ又むじなトモ云ツテ居

立派ナ有益獸デア

上記ノぬくてー以下、たぬきマデノ食物ニハ肉類ヲ與ヘテ居ル

○やまあらし The Common Indian Porcupine (*Hystrix leucura* Sykes.) ハ印度ニ普通棲ム所ノやまあらしデ、鬣毛ト棘毛(針状毛)ハ比較的短イ種類デ夜獸デア、若シ此獸ガ怒リ出スト、體ノ後部ニ密生シテ居ル針状ノ毛ヲ直立シテ、敵ニ其針先ヲ向ケルカラ、小サナ敵ハ其權幕ニ恐レテ仕舞フケレドモ、若シ強ヒテ敵對スレバ、必ズ其針先デ刺サレルノデア、此様ニ針状ノ毛ヲ起テルトキニハ、針毛ト針毛ガ擦レ合フ音ト其尾ニ備ヘ付ケテ居ル管状殻ノ音ト相混ツテ、可ナリ遠クマデ聞ユルモノデ、其音ハ恰モ竹廉ヲ強ク摩擦スル様ナ音デア、又物ニ怖レルト、其體ヲ縮メテ仕舞フモノデア、食物ニハ根菜類ヲ與ヘテ居ル

### 第三十二號 栗鼠室

○てうせんしまりす The Korean Chipmunk (*Eutamias orientalis* Thomas.) ノ多數ガ飼ツテアル、朝鮮ニ産スルモノデ、其動作ガ如何ニモ敏捷デ、終日活動ヲ續ケテ居ル可愛ラシイ鼠ノ類デア、飼ヒ方ガ惡イト澤山飼ツテモ友喰ヒヲスル様ニナツテ、弱イモノカラ段々ニ喰ヒ減ラサレテ、遂ニハ全滅シテ仕舞フコトガアル、食物ニハ根菜類ヤ、麥ナドヲ與ヘテ居ル

### 第三十三號 猿室

○あかびさる (第二十七號室ノ記事ヲ見ヨ)

此第三十三號室カラ、後へ振向クト、廣イ金網ノ圍ガアル、ソレガ第三十四號室デア

### 第三十四號 カンガル―並兎放養場

○おほかんがるー The Great Gray Kangaroo (*Macropus giganteus* Thomas.) ハ毛ハ淡黒灰色デ體格ガ大キク、オーストラリアニ産スルノモデア、かんがるー中ノ一番大キナモノデ、本園デモ時々繁殖スルコトガアル、一體かんがるー類ノ、地上ヲ跳躍スル状態ノ面白イコトハ、他ノ動物デハ、見ルコトガ出来ナイバカリデナク、兒ヲ産ムト、牝親ハ其赤兒ヲ、腹ノ外ニアル袋ニ入レテ置イテ育テルノデア、出来得ル限リハ其小供ノ發育状態ナドが見ラレル様ニ、常ニ牝牡數頭ヲ飼ヒ置ク積リデア、アルガ、随分飼養ノ難カシイ動物デア

○かひうやぎ The Rabbit (*Lepus cuniculus* L.) ガ澤山放シテアルカラ、樹ノ伐リ株ノ下ヤ、小屋ノ中カラ地中ニ隧道ヲ作ツテ、其中デ兒ヲ産ンダリ、雨ヤ雪ヲ凌イダリスルノデア、以上二種ノ食物ニハ根菜類ト穀物、草ナドヲ與ヘテ居ル

此第三十四號室カラ後へ振返ルト、第三十三號猿室ノ隣ニ一ツノ建物ガアル、コレガ第三十五號室デア

### 第三十五號 禽室

○かやがき The Korean Magpie (*Pica pica sericea* Gould.) ハかけす位ノ大キサデ、羽ハ肩ヤ腹ノ邊ハ灰白色デアアルガ、其他ノ部分ハ光澤ヲ帯ビタ黒ミノ強イ青銅色デアアル、此鳥ハ支那、朝鮮、九州ニ澤山居ルカラ、其土地ニ從ツテ、たうがらす、てうせんがらす、ひぜんがらすナドノ名ガ附イテ居ル、極馴レ易イ鳥デ、摺餌ヤ肉類ヲ以テ養ヘルノデアアル

### 第三十六號 猛禽室

○ぶくろろ The Ural Owl (*Syrnium uralensis* (Pallas.)) ハ歐羅巴カラ亞細亞ノ東部マデ廣ク棲ンデ居ル鳥デ、本邦デハ本州カラ北海道、樺太邊マデ澤山ニ棲ンデ居ル、羽ノ色ハ美シクナイ鳥デアアルケレドモ、日中殊ニ光線ノ烈シイ時ニハ、能ク物ヲ視ルコトガ出來ナイカラ眠ツテ居ルガ、顔ノ周圍ノ羽毛ハ、圓ク縁取ツタ立派ナ輪廓ヲナシテ居ルノデ、若シ眼ヲ充分ニ開イタ時ハ、其眼光ガ輝イテ面白い風貌ニ見ユルモノデアアル

○いぬわし The Golden Eagle (*Aquila chrysaetos* (L.)) ハ歐羅巴ト、亞細亞ノ全部ニ産スルモノデ、おほわしヨリハ少シ小サイ、肢ニハ趾ノ際マデ短イ羽毛ガ生ヘテ居ル

○おほわし The Steller's Sea-Eagle (*Haliaeetus pelagicus* Pall.) ハ歐羅巴及亞細亞ヲ通ジテ棲ンデ居ルモノデ、小サイ哺乳類ナドヲ捕ヘテ食フ猛烈ナ鳥デアアル、カムチャツカカラ北海道デ繁殖シ、冬ニナルト、内地ニ渡ツテ來テ、主ニ海岸ニ棲場所ヲ定メ、魚類ナドモ捕ヘテ喰フモノデ、此處ニ飼ツテアルノハ一羽ハ樺太、一羽ハ福島縣下デ捕ヘタモノデアアル

○はげわし The Black Vulture (*Vultur monachus* L.) ハ朝鮮、支那、印度ヨリ地中海々岸邊マデ棲ンデ居ル、大抵森林ノ中ニ居ルモノデ、おほわし位ノ大キサデアアルケレドモ、風切羽ガ長イカラ一見おほわしノ二倍位ニ見エル、羽毛ハ概ネ黒褐色デ、頭ノ頂上、眼ノ上部、頬等ニハ綿狀ノ毛ガアツテ、頸ノ下ノ方ニハ襟卷狀ノ羽毛ガアル、頭頸ノ中此綿狀ノ羽ノ無イ部分ハ、總テ裸出デアアル、又上嘴ハ黒ミヲ帯ビテ居テおほわしノモノヨリハ其幅ガ狭イ、脚ハ蒼白色デ其爪ハおほわしノモノヨリ遙ニ鈍イノデアアル

以上ハ觀覽人ノ便利ノ爲ニ本園ノ案内ト、觀覽後話題ノ材料トヲ兼ネテ述ベタモノデアアルガ、園内ニ飼養シテアル動物ハ、常ニ増減ノ生ジ易イモノデアアルカラ、自然陳列場所ニモ移動ヲ生ズルコトヲ豫期スルノデ、時々増補又ハ改訂ヲ行フ積デアル

飼養動物分類表

和名	學名	名	頁
CLASS MAMMALIA			
綱 哺乳類			
Order Primates			
目 猴類			
さる	<i>Macacus speciosus</i> Chev.	.....	9
たわんざる	<i>Macacus cyclopis</i> Swinhoe.	.....	9
たぶたかげざる	<i>Macacus nemestrinus</i> Desm.	.....	9
あねとざる	<i>Macacus rhesus</i> Audub.	.....	43
ぼんげとざる	<i>Macacus sinicus</i> Gray.	.....	43
ぼんげとざる	<i>Semnopithecus siamensis</i> S. & Muller.	.....	43
ぼんげとざる	<i>Cynopithecus niger</i> Lesson.	.....	43
Order Chiroptera			
目 翼手類			
おがさわらおほこもり	<i>Pteropus pselaphon</i> Lay.	.....	43
りさきおほこもり	<i>Pteropus dasyrnallus</i> T.	.....	43

Order Rodentia			
目 齧齒類			
かひさずみ	<i>Lepus cunicurus</i> L.	.....	49
てんぢあらし	<i>Cavia cobaya</i> Schreb.	.....	39
やまほらし	<i>Hystrix cristatus</i> L.	.....	48
てうせんしむりす	<i>Rattia indica</i> .....	.....	41
	<i>Eutamias orientalis</i> Thomas.	.....	48
Order Carnivora			
目 食肉類			
ほらきやくやく	<i>Thalassarctos maritimus</i> Dasm.	.....	44
くまらやく	<i>Ursus tibetanus</i> Chev.	.....	46
くまらやく	<i>Ursus japonicus</i> Schleg.	.....	46
くまらやく	<i>Ursus americanus</i> Pallas.	.....	46
くまらやく	<i>Ursus arctos</i> L.	.....	46
くまらやく	<i>Procyon lotor</i> L.	.....	47
くまらやく	<i>Vulpes japonicus</i> Gray.	.....	47
くまらやく	<i>Vulpes pennsylvanicus decussatus</i> Geoff.	.....	47
くまらやく	<i>Nyctereutes procyonoides</i> Gray.	.....	47
くまらやく	<i>Canis sp.</i> .....	.....	46

と	ら	Tigris regalis Gray. ....	13
へ	5	Leopardus pardus L. ....	13
い	2	Felis chaus Guld. ....	42
の	2	Felis sp. ....	42
き	-	Cercoleptes caudivolutus Illig. ....	42

Order Perissodactyla.  
目 奇蹄類

5	5	Asinus vulgaris Gray.	12
---	---	-----------------------	----

Order Artiodactyla  
目 偶蹄類

か	か	Capricornis crispus (T.) .....	10
れ	5	Antilope cervicapra. ....	12
い	い	Hircus aegagrus Gray. ....	10
や	か	Rangifer tarandus L. ....	45
と	い	Cervus (sika) nippon T. ....	13
し	か	Cervus taiouanus Blyth. ....	13
く	く	Capreolus bedfordi Thomas. ....	11
の	る	Muntiacus reevesi nicirurus. ....	41
き	ん		

ふ	だ	Camelus bactrianus Gray. ....	11
ら	ま	Lama glama Cuvier. & Thomas. ....	10
わ	し	Sus leucomystax Gray. ....	10
か	ば	Hippopotamus amphibius L. ....	39

Order Proboscidea  
目 長鼻類

い	5	Elephas indicus L. ....	8
---	---	-------------------------	---

Order Marsupialia  
目 有袋類

ふ	と	Trichosurus vilpecula Jenst. ....	42
ま	-	Macropus giganteus Thomas. ....	49

CLASS AVES  
綱 鳥類  
Subclass Carinatae  
亞綱 深胸類  
Order Passeriformes  
目 燕雀類

め	り	Alcippe morrisonia Swinhoe. ....	34
---	---	----------------------------------	----





の	じ	こ	Emberiza sulphurata T. & Schleg. ....	4
Order Psittaciformes. 目 鸚哥類				
あ	ほ	ば	Cactua moluccensis Gmel. ....	2
き	い	は	Cactua galerita Lath. ....	28
た	い	は	Cactua alba (Mill.) ....	29
こ	も	の	Cactua sulphurea (Gmel.) ....	28
も	か	め	Cactua roseicapilla Vieill. ....	38
を	か	さ	Calopittacus novae-hollandiae (Gmel.) ....	38
あ	か	さ	Platyercus elegans (Gmel.) ....	29
せ	き	せ	Melospitacus undulatus Shaw. ....	29
つ	だ	る	Lorius dominicella (L.) ....	29
こ	せ	い	Palaeornis fasciata (Mill.) ....	29
ご	し	き	Psittentales chlorolepidotus (Kuhl.) ....	30
い	ろ	ご	Trichoglossus novae-hollandiae (Gm.) ....	30
い	い	い	Trichoglossus ornatus (L.) ....	30
い	い	い	Eos rubra (Gm.) ....	30
か	る	か	Agapornis cana (Gm.) ....	30
め	さ	し	Conurus canicularis (L.) ....	31

あ	か	ほ	Chrysotis rhodocorytha Salvad. ....	31
こ	ん	ご	Ara macao (L.) ....	31
あ	を	き	Ara ararana. ....	38
せ	い	こ	Psephotus haematonotus Gould. ....	38
お	ほ	ほ	Palaeornis eupatria (L.) ....	39
Order Strigiformes 目 梟鴞類				
ふ	く	ろ	Syrnium uralensis (Pallas) ....	50
Order Vulturiformes 目 秃鷲類				
は	げ	わ	Vultur monachus L. ....	51
Order Accipitriformes 目 鷲鷹類				
あ	い	ほ	Haliaeetus pelagicus Pall. ....	50
い	い	い	Aquila chrysaetus (L.) ....	50
Order Pelecaniformes 目 鷗鷲類				

5	み	5	Phalacrocorax carbo L. ....	22
5	お-すとらりあべりかん		Pelecanus conspicillatus T. ....	16

\*KO

Order Anseriformes  
目 雁 鴨 類

り	ど	り	Aex galericulata (L). ....	25
も	が	も	Anas boschas L. ....	20
も	が	も	Anas zonorhyncha Sw. ....	20
も	が	も	Eunetta falcata Georjii. ....	25
も	が	も	Nettion crecca (L). ....	26
も	が	も	Nettion formosum (Georjii). ....	25
も	が	も	Dafila acuta (L). ....	26
も	が	も	Mareca penelope (L). ....	26
も	が	も	Anser albifrons Scop. ....	20
も	が	も	Anser erythropus (L). ....	20
も	が	も	Anser segetum serrirostris Swinhoe. ....	20
も	が	も	Cygnus bewicki Yarrell. ....	21
も	が	も	Cygnus olor (Gm). ....	21
も	が	も	Olenopsis atrata (Lath). ....	22
も	が	も	Alopochen aegyptiacus L. ....	21

ま	だ	ら	が	ん	21
Anseranus semipalmata Lath. ....					

Order Ardeiformes  
目 鷺 類

こ	あ	ご	さ	ぎ	23
さ	を	ね	さ	ぎ	24
ろ	つ	ら	の	ら	23
こ	さ	ら	と	ぎ	27
				ら	7
				ぎ	24

Order Gruiformes.  
目 鶴 類

い	け	い	27
ほ	ば	ん	27
ん	ち	ん	27
べ	づ	ん	27
な	づ	ん	15
な	つ	ん	23
ま	つ	ん	23
ま	つ	ん	23
ま	つ	ん	16

\*K1

あねはろづる Grus virgo L. .... 27  
あすとりあづる Antigone australasiana (Gould). .... 16

Order Iariformes  
目 鷗 類

ゆりかもめ Larus ridibundus L. .... 26  
あほせぐろかもめ Larus schistisagus Stejn. .... 17  
あみね Larus crassirostris Vieillot. .... 26

Order Sphenisciformes  
目 ペンギン類

ペンギン Spheniscus humboldti Meyen. .... 17

Order Columbiformes  
目 鳩 類

びくとりあかんむりばと Goura victoria Frieses. .... 36  
すれ-てるかかんむりばと Goura sclateri Salvad. .... 37  
きんばと Chalcopteryx indica L. .... 36  
しらばと Turtur risorius T. .... 35  
あししと Turtur orientalis (Latham). .... 6  
あしと Geopelia striata Briss. .... 35

どばと Columba domestica Gmel. .... 25

Order Galliformes  
目 鶉 雞 類

かばと Meleagris gallopavo L. .... 41  
ろほと Numida meleagris L. .... 37  
いんどじと Pavo cristatus L. .... 2  
くぢと Pavo muticus L. .... 2  
あしと Gallus domesticus Briss. .... 37  
あしと Chrysolophus pictus L. .... 7  
あしと Phasianus torquatus Gmel. .... 6  
あしと Phasianus versicolor Vieill. .... 6  
あしと Gennaeus nycthemerus L. .... 6  
あしと Gennaeus Swinhoei (Gould). .... 37  
あしと Bambusicola sonorivox Gould. .... 35  
あしと Arboricola erudigularis (Swin). .... 35  
あしと Coturnix japonica T. & S. .... 5  
あしと Turnix blanfordi Blyth. .... 5

Subclass Raptariae  
亞 綱 扁 胸 類

Order Struthioniformes  
目 駝鳥類

だ ー 5 Struthio camelus L. .... 40

CLASS REPTILIA

網 爬虫類

Order Chelonia

目 龜鼈類

り う き う は こ が め Cyclemys flavomarginata Gray. .... 19

か ろ り な は こ が め Cistudo carolina (L.) ..... 19

い し ま が め Clemmys japonica Gray. .... 19

や が め Geodemys reevesii Gray. .... 19

Order Crocodilia

目 鱷魚類

あ め り か あ り げ - と - Alligator mississippiensis Daud. .... 18

し な あ り げ - と - Alligator sinensis Fauvel. .... 18

Order Saurii

目 蜥蜴類

も に と - Varanus salvator. .... 18

Order Ophidia

目 蛇類

が ら が ら へ び Crotalus lucifer Baird. .... 44

CLASS AMPHIBIA

網 兩棲類

Order Urodela

目 有尾類

さ ん せ う を megalobatrachus japonicus (Temm). .... 15

CLASS PISCES

網 魚類

Order Teleostei

目 硬骨魚類

ふ ひ き こ ぶ ぎ な よ ひ ひ ひ Carassius auratus L. .... 14

は い づ り つ ぎ り ひ ひ Carassius auratus L. .... 14

は い づ り つ ぎ り ひ ひ Cyprinus carpio L. .... 14

は い づ り つ ぎ り ひ ひ Cyprinus carpio L. .... 14

ふ ひ き こ ぶ ぎ な よ ひ ひ Cyprinus carpio L. .... 14

5	な	ぎ	Anguilla japonica T. & S. . . . .	15	
			CLASS CRUSTACEA 甲殼類 Order Decapoda 目 十脚類		
や	し	が	に	Birgus lator. . . . .	15

大正八年十二月廿六日印刷及發行

(定價金貳拾錢)

發行所 東京帝室博物館

印刷者 東京市神田區美土代町二丁目一番地  
鳥 連 太郎

印刷所 東京市神田區美土代町二丁目一番地  
三 秀 舍

92  
1821

終

